

LION

今月の特集

LCIフオーワード

3



IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

MARCH 2017 WWW.THELION-MAG.JP

ライオン誌(毎月20日発行)第59巻第3号 2017年2月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

LION 電子版

**LION** MAGAZINE IN JAPAN
ライオン誌デジタル版

アーカイブ
●最新号(2017年2月号)
■表紙 - 新潟県小千谷市「雪さらし」
■国際会長メッセージ - 「史上最高の国際大会に参加しよう」
■The Power of Service 奉仕の力5 - 視覚障害者に自立を助ける盲導犬を
■SCENE - 千葉県総武中央/高知東
■CLUB REPORT - 福島県桑折/徳島県春日井中央/愛媛県松山/宮崎県都城シティ
■群馬県高崎三山/兵庫県姫路ゴールド/福岡県山崎成/宮城県東松島/青森県むつ/福岡県/イギリス・リバプール/ノルウェー・タナ/ハンガリー・ミシュコルツ/スイス・ビュンドナーヘアシャフト
■特集 - シカゴ国際大会への誘い「ライオンズ発祥の地を巡る旅」
「映画に見るシカゴ」
■第29回国際平和ボスター・コンテスト 複合地区レベル最優秀作品
■国際理事より - 「ライオンズクラブの未来を信じて」中村泰久
■LIONS NEWS CASSETTE - シカゴ国際大会から大躍進する代議員資格証明と投票/持続可能な開発目標の達成を支援するレオクラブのビデオ・コンテスト/竣工式を迎えた336-B地区のミヤマー井戸建設プロジェクト/Touchstone Stories 試金石ストーリー 12 レオがやってきた/アメリカでライオンズクラブ100周年記念便覧発行
■シカゴ国際大会代議員資格証明用紙
■TOPIC - 熊本地震被災地支援活動
■Foundation Impact
■LCIF FILE
■山下里美/島津穂平/影山朋香/池田謙一/竹浪正樹
■Close up - 真塩満之
■表紙の背景 - 新潟県小千谷市
■ふるさと探訪 - 石川県能登町
■READERS ROOM - 読者から/読者プレゼント
■もう一度読みたい「あの記事」 - 良きライオンたる条件
■EDITORS ROOM - ライオン誌例会のスヌメ/次号予告
■編集室 - 「緊急時に備えるアラート・プログラム」中村勇雄
■日本ライオンズクラブ 分布図



ライオン誌日本語版では、2009年7月号から電子版の配信を開始。2016年からは、日本語版が創刊された1958年以降の全てのライオン誌を、電子版アーカイブとして公開しています。併せて全バックナンバーの記事を検索出来るシステムを開発し、ライオン誌ウェブマガジン上でご覧頂けるようになっていきます。ぜひご活用ください。

■ライオン誌日本語版最新号

ライオン誌日本語版の最新号は、ライオン誌ウェブマガジンのトップページにある表紙写真をクリックすると、雑誌形式の電子版が開きます。

<http://www.thelion-mag.jp>

■ライオン誌日本語版バックナンバー

1958年の創刊以来、全てのライオン誌日本語版が電子版でご覧頂けます。ウェブマガジン・トップページ左にある「アーカイブ」メニューからお入りください。最初のページでは、記事の検索も出来るようになっていきます。

●アーカイブ（創刊以来のバックナンバーの全記事検索）

<http://www.thelion-mag.jp/emag.php>

ライオン誌ウェブマガジンからはこの他、ライオン誌へのアクティビティ投稿や、ライオン誌読者プレゼントの応募、ライオン誌出版物の注文が、オンラインで出来るようになっていきます。

●アクティビティ投稿

<http://www.thelion-mag.jp/report/activity/index.htm>

●読者プレゼント応募

<http://www.thelion-mag.jp/modules/inquiry/index.php?op=0>

●ライオン誌出版物の注文

<http://www.thelion-mag.jp/modules/inquiry/index.php?op=2>

電子版は専用アプリを使用することで、スマートフォンやタブレットからはオフラインでも閲覧出来ます。電子版専用アプリは、ダイレクトクラウド社が無料で提供しているカタログビューア「Wisebook CloudViewer」で、iPhoneやiPadなどのiOSはApp Storeから、Android系スマートフォンやタブレット用はGoogle Playから無料でダウンロード出来ます。

■Wisebook CloudViewer (Android版)

Android版のGoogle Playダウンロード・ページ
play.google.com/store/apps/details?id=jp.wisebook.cloudviewer



■Wisebook CloudViewer (iOS版)

iOS版のApp Storeダウンロード・ページ
itunes.apple.com/jp/app/wisebook-cloudviewer/id980521598



●国際協会ライオン誌日本語版デジタル（試験運用中）：<http://mydigimag.rrd.com/publication?i=378051>

●ライオン誌 Facebook：<https://www.facebook.com/LION.MAG.JP>

●ライオン誌 Twitter：<https://twitter.com/LionJP>

●ライオン誌 Instagram：<https://www.instagram.com/lionmagjp/>



- 4 国際会長メッセージ ●「次なる世紀への新たな奉仕プラットフォーム」
- 5 The Power of Service ～奉仕の力 ⑥ ● 青少年に奉仕を通じた成長を
- 6 **SCENE** ● 山形県酒田／岡山県高梁
- 10 **CLUB REPORT**
10：千葉県君津／12：島根県益田／14：香川県高松西／14：熊本マグナ／15：神奈川県湘南茅ヶ崎／15：岡山県倉敷／16：三重県河芸／16：奈良県大和高田／17：青森県弘前東奥／17：337-A地区第3ゾ第1ゾ、第2ゾ、第3ゾ（福岡県）／18：イギリス・ケタリング&ディストリト
- 19 **特集** ● LCIフォーワード
創設100周年を迎えたライオンズクラブの次なる100年に向けた戦略計画「LCIフォーワード」。世界のライオンズに新たなビジョンと進路を提示するこの計画は、シカゴ国際大会からスタートする。
20：奉仕の今後の進化
24：変化する世界に奉仕する
27：成長の種をまこう
28：優れたリーダーシップがエクセレンスをもたらす
30：メルビン・ジョーンズは正しかった
32：セカンド・センチュリー・アンバサダー
- 33 国際理事だより ●「メルビン・ジョーンズの後継者として」安井克之
- 34 LIONS NEWS CASSETTE
34：ライオンズクエスト・プログラム導入校に文部科学大臣表彰／34：30周年を迎えるライオンズ国際平和ポスター・コンテスト／35：2016-17年度上半期に交付されたLCIF交付金／37：Touchstone Stories 試金石ストーリー 13 国際連合
- 38 東日本大震災復興だより ● 宮城県七ヶ浜
3.11リレー連載②：鈴木國男
- 40 Foundation Impact
- 41 LCIF FILE
- 42 獅子吼
42：遠藤隆一／43：伊原弘實／44：深沢哲／45：橋本取三／46：石井身佳子
- 48 表紙の背景 ● 栃木県足利市
- 49 **ふるさと探訪** ● 山梨県都留市
- 54 READERS ROOM
54：読者から／読者プレゼント
55：もう一度読みたい「あの記事」 ● 「母にひとつ、父にもひとつ」
- 56 EDITORS ROOM
56：ライオン誌例会のススメ／次号予告
57：編集室 ● 「ライオン誌のデジタル化について」石井博之
- 58 日本ライオンズクラブ 分布図



本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

A Message From Our President



Chancellor
Bob Corlew
Lions Clubs International
President

次なる世紀への新たな奉仕プラットフォーム

私がおもった若かった1960年代には、変革の風が吹いていました。とはいえ、そうした風は常に吹いているものです。ジョン・F・ケネディ大統領は、「変化とは人生の法則である。過去と現在しか見ない人は、確実に未来を見失う」と述べています。従って、私たちは必然的な変化に対応しなければなりません。それを「方向性を持った改革」と表現しましょう。私たちは、世界を良い方向へと変える必要があるのです。

ライオンズクラブ国際協会は方向性を持って変わりつつあり、新たな奉仕プラットフォームを推進しています。従来の取り組みは今も意義深く、私たちは今後も失明者を援助し、青少年を支援し、クラブが行っている数々の活動を続けていきます。私たちのグローバル奉仕の新たな枠組みとなるのは次の五つの分野で、私たちは視力保護に加えて糖尿病の管理、小児がんへの対応、環境保全、飢餓の防止にも取り組むことになります。

糖尿病に関する活動は特に重視されます。糖尿病による弊害は先進国でも発展途上国でも急速に広がっており、ライオンズは認識を向上させ、検査・治療プログラムを拡大していくことになります。

また、環境への取り組みも大きく強化します。これは若いライオンやレオにとって実に重要なことであり、水と空気の浄化、衛生の改善、自然エネルギーの利用拡大といった活動が対象となります。

視力に関しては、失明者を援助し、眼科診療所や病院の建設を続けることに加えて、視

覚障害者も支援します。私たちは児童の眼科検査を拡大し、黄斑変性、糖尿病性網膜症、緑内障など、深刻化している問題により多くの資源を投入します。

青少年への支援についても、私たちは奉仕への共鳴を促していきます。特に重点を置くのは小児がんです。悲しいことに現在は、患者の生存率がわずか10%という国々もあります。

このグローバル奉仕の新たな枠組みは、綿密な調査とライオンズ、レオの幅広い意見に基づき選ばれました。そのため、ライオンズとレオの関心と能力にかなったものであると、私たちは確信しています。

私たちの目標は2021年まで毎年2億人に奉仕することであり、これは人道奉仕のインパクトを現在の3倍にするという壮大な計画です。しかしご存じのように、過去に目標の達成を求められた時、ライオンズは必ず設定したゴールを打ち破ってきました。

世界はめまぐるしく変化しています。ライオンズは自ら変化し、奉仕の焦点を新たにすることによって、それらに対応していきます。次なる奉仕の世紀は私たちの組織の規模と活動の範囲を大きく拡大させ、ライオンズは善を尽くす最も強力な奉仕組織であり続けることになるでしょう。

2016-17年度国際会長
ボブ・コーリユー

青少年に奉仕を通じた成長を

青少年に奉仕の精神とリーダーシップを養うレオクラブ・プログラムは1967年10月にスタートし、翌年6月には日本で最初のレオクラブが発足した。高知ライオンズクラブの柳川島源司が学長を務める高知学園内に結成された高知レオクラブは、清掃や交通指導、老人ホーム訪問などの活動をスタート。これに福岡県の北九州八幡、北九州門司、北九州小倉、北九州戸畑、北海道・小樽の各レオクラブが続いてその動きは全国に広まり、最初の1年間で30クラブの誕生を見た。

高知レオクラブ結成から10年目の78年3月には高知市で全日本レオ・フォーラムが開かれ、全国180のレオクラブの代表1100人と、指導に当たるライオン500人が参集。「奉仕活動」「会員増強と出

席」をテーマとする分科会で熱心に意見が交わされた。北九州から参加した17歳のレオは、次のように訴えて参加者の共感を呼んだ。

「我々、今の若者はエネルギーにあふれているが、目に光が無い。レオクラブの活動を通じて、光を取り戻そうではないか」

レオたちは現在も、活動を通じて奉仕の喜びを実感し、大きな成長を遂げている。指圧師や看護師を目指す学生たちで構成された鹿児島県・久木田学園レオクラブは、専門技術を生かして離島に暮らす高齢者にマッサージを施す活動を実施。335・B地区内の五つのレオクラブは、東日本震災後に福島から近畿地方へ避難した家族と共にお花見を行うなど、被災者の心に寄り添う奉仕を続けている。



335-B地区内的大阪、大阪志学台、枚方、八尾、和歌山の各レオクラブは合同で、震災後に福島から避難してきた家族を支援。ピクニックに招いて子どもの外遊びや保護者同士で悩みを話し合う機会を提供している

これなくして庄内の冬は語れない。熱々の寒鰯汁で町を元気に！

1月28、29日の両日、酒田市の第30回酒田日本海寒鰯まつり^{かんだら}が開催された。魚へんに雪と書くだけあり、厳冬のタラは産卵のため丸々と太って脂がのり、特に「寒鰯」と呼ばれる。山形県の日本海沿岸、庄内の冬を代表する郷土料理が、この季節のタラを使った寒鰯汁で、庄内では「寒鰯なくして冬を語ることはい出来ない」とまで言われる。

寒鰯まつりでは、地元商店街や水産物協同組合などが、それぞれ独自の味付けで寒鰯汁を提供。酒田ライオンズクラブ^{クラブ}（南間勲会長／83人）も2004年から毎年出店している。当時の商工会議所会頭齋藤成徳からの要請もあり、まつりを盛り上げ町を活性化させようと参加を決め、以来今年で14回連続となる。酒田ライオンズクラブの寒鰯汁は、

寿司屋の大将直伝のレシピで、昆布だしに味噌、ネギを加え、隠し味に酒粕を入れている。更に酒田ライオンズクラブでは三つの鍋を用意。第一の鍋で具を湯通しした後、汁が入った第二の鍋で味を染み込ませ、具を器に盛った後、第三の鍋から熱々の汁を注ぐ。そして最後に風味豊かな岩のりを添えて出来上がり。その味を知っている地元の人

たちは、自宅から鍋やタッパ持参で買いに来るほど。1日約400食を用意するが、わずか2時間で完売。また、タラコをしようゆ漬けにした「鰯子入り海苔巻」と、エビとただだ茶豆のみれ入り寒鰯汁うどんも大好評。酒田さわやかライオンズクラブの手伝いを得た会員たちは、寒さを吹き飛ばす働きを見せ、2日間延べ1200食を売り上げた。





岡山県・高梁ライオンズクラブ

取材／井原一樹 写真／関根則夫

400人の子どもたちが必死に跳ぶ。小学生なわとび大会開催

1月21日、高梁市民体育館^{たかはし}で高梁ライオンズクラブ（藤井正直会長／26人）が主催する、第29回小学生なわとび大会が開催された。この日、体育館に集まったのは市内の小学生を中心とした約400人の子どもたち。応援の大人たちも含めれば、更に参加者は多くなる。

大会は個人の部と団体の部があり、団体の部では29チームが参加。1チームは8人で跳ぶ。2回の挑戦で跳んだ合計回数を競う方式だ。全員の息を合わせるのは至難の業。一人が引っかけてもいけないため、プレッシャーも大きい。子どもたちは皆、真剣ながらも楽しそうに跳んでいた。

後半の個人の部は耐久戦。一斉に跳び始め、引っかけた人から脱落していくスタイルだ。学年ごとに順位を決めるが、まずは予選として全員一斉にスタート。15人が残るまで絞り込む。いったん仕切り直した後、15人で再び跳び始める。制限時間がないため、跳んでいる子が複数いれば、終わらない。20分以上跳び続けることも多く、勝負が決すると座り込む子もいる。その真剣勝負を大人たちも固唾を飲んで見守っている。

クラブがこの事業を始めたのは1990年。子どもの数は年々減っているが、参加者は前年と同数が増える傾向にある。学校の先生も真剣に取り組んでくれており、子どもたちの良い目標になっているようだ。メンバーたちは運営や審判に大忙しだが、最初の頃に参加した子が、親となって参加してくれるなど、うれしい体験も多いという。





333-C地区

千葉県・君津ライオンズクラブ

青少年の未来のために、 選んだメニューは「走り方」



「速く走るために大事なことは、何だと思う?」

との問いに、しばし考え込む児童たち。

「答えは、正しい走り方で走ること。じゃあ正しく走るにはどうしたらいい?」

と、壇上の声の主は質問を続けた。

この日、正しい走り方を子どもたちに指導したのは、オリンピック・トライアスロンのナショナルチームでコーチを務めた経験もあるプロランニングコーチの青山剛さん。君津ライオン

ズクラブ（池田敏彦会長／94人）が

ライオンズクラブ100周年記念事業として開催した「小学生向け 体幹スイッチランニング・セミナー」での一コマだ。

「体幹スイッチ」とは体幹を中心に進行準備運動のこと。走る前に行うと、使いたい筋肉群が動員されやすく、正しい走りにつながるというものだ。脚が速くなるだけではなく、けがもしにくくなり、どんなスポーツにも応用が利くという。体幹を使えるようになる方法はいくつかあるが、今回は冒頭の質問の答

えでもある「肩甲骨」を大きく動かすプログラムが行われた。

100周年記念事業に、なぜ正しい走り方セミナーを選んだのか、池田会長に話を伺った。

「今年度、会長スローガンとして『青少年の未来のために』をサブテーマに掲げたこと。講師の青山氏との出会いなどもありますが、君津ライオンズクラブには、333・C地区第10回第2次のうち、君津市内4クラブの合同アクティビティとして、運動能力の優秀な生徒に運動能力章を交付する事業を40年以上にわたって継

クラブ レポート

●投稿要領：アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に。700字程度。写真を添付。ライオン誌ウェブマガジンのオンライン投稿か、Eメールまたは郵送で。送付先は57ページ下。

※写真に100周年ロゴが付いた活動は100周年記念奉仕事業として国際協会に報告された事業



続してきた歴史があります。そういう意味では、今回のセミナーは、青少年を対象としたスポーツ事業の集大成と言っても過言ではありません」

7月に委員会を組織した後、市内の小学校を訪問し、参加を呼び掛けた。当初は君津市内の小学校だけを対象に考えていたが、企画を進める中で「君津市民以外は参加出来ないのか」などの問い合わせが殺到。急きょ募集エリアを広げたところ、広く千葉県内から、遠くは東京からも参加希望者があった。また、正しい走り方を身に付けるには小さな子どもの方がいいというので、幼稚園の年長児も

参加出来るようにしたところ、最終的に参加者は総勢570人を超えた。

当日は午前到低学年、午後から高学年の部を行った後、ニーズの高かった大人の部も自由参加で開催。どの部でも腹筋や背筋、肩甲骨を大きく動かすストレッチを行った後、さまざまなパターンのランを繰り返した。

ここで正しい走り方を知ったことがきっかけで、将来一流のアスリートが生まれるかもしれない。そんな未来を想像してか、多くのライオンが、駆ける子どもたちに目を細めていた。

(取材／砂山幹博 撮影／長谷川直紀)



336-D地区

島根県・益田ライオンズクラブ

厳かな雰囲気で真剣勝負 万葉かるた大会開催



島根県益田市は歌人柿本人麿の終焉の地として知られており、百人一首を用いた競技かるたが盛んな地域だ。「畳の上の格闘

技」とも評される競技かるたは、取り札を瞬時に払う瞬発力、どの場所にも何の札があるか、どの歌がどの札に対応しているかを

覚える記憶力、長時間に及ぶ試合で気持ちを切らさない精神力が必要となるなど、その優雅なイメージとは裏腹に過酷な競技である。

1月29日、益田市民学習センターで益田ライオンズクラブ（井藤章雄会長／53人）が主催する第35回柿本人麿万葉かるた大会が実施された。参加したのは小・中・高校生を中心とした123人。インフルエンザの影響で人数が減ってしまったが、参加者はそれぞれ練習の成果を見せようと気合い十分だった。

クラブがこの事業を始めたのは1983年のこと。島根県が柿本人麿にゆかりがある益田市に万葉公園を作ったのがきっかけだった。それから毎年同じ時



ライオンズは昼食も提供

期に実施している。益田ライオンズクラブでは他にもスパーボール禅など日本の伝統文化に親しめるような事業を展開している。これは、グローバル化が進む今だからこそ、日本の伝統文化を知った上で、他国の人と文化交流をしてほしいという願いからだ。メンバーもこの思いを胸に、精

力的に動いている。

今回の大会は3人1組で行う団体戦と、初心者向けの「五色彩かるた」を用いた個人戦の2種類が用意されている。競技かるたは一瞬で勝負が決まるため、読手が札を読んでいる間は会場内にいる人たちが動きを止める。その厳かな雰囲気の中、上の句



が読まれると、会場のあちこちで札が飛ぶ。団体戦はチームに与えられた50首を17、16、17枚に分け、それぞれの前に並べる方式だ。自分が取れるのは自分の前の札か、正対する相手の札のみ。つまり、自分の前に並ぶ札が読まれないことも多い。それでも試合中は集中をし続けなければならず、気力と体力を激しく消耗する。

百人一首や和歌に対して強い情熱がある、この益田という地域。ライオンズとしても先人たちの思いを引き継いでいく必要があると考えている。今後もある大会を継続し、子どもたちに日本の伝統文化に触れるきっかけとなるような大会運営をしていく予定だ。

則夫

(取材／井原一樹 撮影／関根



高齢者の部も実施。それぞれ真剣勝負だ

336-A地区

香川県・高松西ライオンズクラブ

がん征圧、患者支援チャリティーに参加して



日本人の2人に一人ががんになり、3人に一人が死亡するという深刻な事態は、誠に憂慮すべき社会問題だ。

2016年10月29日～30日、サンポート高松多目的広場において、公益財団法人日本がん協会主催のリレー・フォー・ライフ・ジャパン2016かがわ高松が盛大に開催された。

増え続けるがんに社会的関心を喚起し、地域住民に正しい知識と対応を啓発するのが目的だ。このイベントを立ち上げたのは、13歳の時に骨肉腫で左足を切断

した齋藤千草実行委員長。がんと戦う患者さんがほんのひと時も笑顔で心の安住を得られる場所を作りたいという切実な思いを熱く語られていた。

ライオンズの主要活動には環境保全・保健福祉プログラムがあり、長年培った豊かなノウハウと実績がある。過去、このイベントは336・A地区内の徳島県で2回、高知県で1回開催されており、今回は真鍋隆地区ガバナーの賛同により香川県で初めての開催となった。要請を受けた高松西ライオンズクラブ(36人)

では直ちに理事会の承認を得て全面協力することになった。

当日は活動に共鳴する企業、団体21チームが参加。患者さんとその家族、後援会の方々を含め、総勢1117人が肩からたすきを掛け、メッセージを書いたランブシエードを点灯し、24時間のリレー行進を実施した。我がクラブでは今期実施予定の奉仕活動を全て100周年記念奉仕チャレンジ、もしくはレガシー・プロジェクトの一環としたいと考えている。

(理事／平賀将則)

被害地域にいる子どもたちが

徐々に日常生活を取り戻してきたのは夏休み頃からだ。部活動は2年生中心の新チームとなり、練習では笑顔があふれるようになってきた。

当クラブは結成以来、数多くの事業を継続してきたが、国際協会100周年、クラブ結成50周年の節目を迎えるに当たり、既存の事業の点検や新規事業の企画を図ってきた。また今期、6人の若い会員が入会し、次期執行部も世代交代の意味も含めて若い者たちで構成されること

になった。

当日は会場の城南スポーツセンターに鹿児島市西紫原中学校を含めた200人の選手、監督、コーチが集合。父兄を始め多くの方が応援に訪れた。審判員は、熊本学園大学女子バレーボール部に依頼。熊本市議会議長の激励にある澤田昌作会長以下、会員ほとんどが復興復旧に直面する中、短時間で力を合わせて実現させた新規事業であった。次年度は更に参加校を増やして大きく発展させたいと願うものである。(事業委員長／林田倫隆)

337-E地区

熊本マグナ ライオンズクラブ

50周年を記念し若きパワーで
中学女子バレーボール大会開催

2016年12月3日、熊本マグナライオンズクラブ(31人)は、17年3月12日にチャーター・ナイト50周年を迎えるに当たり、新規事業として第1回中学女子バレーボール大会を開催した。

16年4月に発生した熊本地震では、全国的に益城町や阿蘇地域がクローズアップされ、ライオンズも含めてさまざまな支援が行われた。隣接する熊本市でも主に東部・南部に多大な被害が出ていたが、メディアでは熊本被害が特に取り上げられていたのが現状だ。

岡山県・倉敷ライオンズクラブ

プロ選手のテクニックを間近に サッカースクールを開催



1月7日、倉敷ライオンズクラブ（藤原京子会長／69人）第26回ちびっ子フェスティバル「ファジアーノ岡山サッカースクール」をくらしき山陽ハイッグラウンドで開催した。この事業は青少年健全育成を目的とし、小学生たちと交流・遊び・競技を通して生きる知恵と力を育む教育の機会と捉えている。

2016年には「Challenge ONE II」を掲げて激闘のシーズンを駆け抜けたファジアーノ岡山のプロサッカー選手6人とコーチ6人を指導者に仰ぎ、小学

校の先生たちと協力してプログラムを創り上げた。

参加者は市内の9小学校から集まった小学3年生から6年生までの男女児童207人。経験者・未経験者・女子の三つに分けてトレーニングメニューに取り組む。参加者全員が楽しみ、スポーツを通じてかけがえのない出会いと、ここぞしか味わえない高揚感を得ることを大切にしようと考え、実施した。子どもたちにとってプロサッカー選手は厳しい環境においても諦めないヒーローだ。そのような憧

れの人たちと同じメニューをこなし、同じピッチに立ち、同じボールを追い掛ける経験や、翻弄されながらもプロのテクニックを間近に学ぶ経験が積み重なっていくことこそが、子どもを一人の人間として成熟させていくと考えている。

子どもたちは私たちの宝物だ。これからも皆が最大限に良いものを注ぐ価値があることを共通認識とし、アクティビティを実施していく所存である。

（青少年育成委員長／中井大介）

湘南茅ヶ崎ライオンズクラブ（20人）は神奈川県湘南地区で活動をしている。昨年、メンバーのご主人が亡くなった時は献眼にご協力頂き、それによって光を取り戻した方から大変感謝された。また、いくつか実施している継続事業のうちの大きなものが「チャリティーディナー&ダンスパーティー」だ。2016年は12月4日に約100人を迎えて実施した。

当日は生バンド演奏からスタート。ホール半分は優雅なダンスが行われ、もう半分は友人と

会話を楽しむ場所に。参加者は地元の仲間たち、そしてチャリティーに賛同してくださる方々で、一足早いクリスマスは大盛況だった。収益金は青少年育成事業の一環として3団体に寄付した。

当クラブは結成30周年を迎えようとしている。結成当時に開所した老人施設には現在でも毎月メンバー数人が交代で奉仕しているが、アクティビティの内容は時代に合わせて変化している。当初は車椅子を押してショッピングセンターや公園に引率

神奈川県・湘南茅ヶ崎ライオンズクラブ

チャリティー・ディナー& ダンス・パーティー開催



していたが、10年前からは談話室で会話の相手をする活動に切り替えた。その頃から青少年育成に力を入れ始め、このダンス・パーティーが始まったのだ。

ライオンズ100周年の今期、会長テーマは「命を繋ぐ」とした。ライオンズの神髄である「命の尊厳」をテーマに3月には臓器移植セミナーを開催する予定だ。年齢と共にアクティビティの変化もあるが、また年末には明るい音楽と共に優雅にダンスを楽しむ目標が見えている。

（会長／水知晴美）

334-B地区

三重県・河芸ライオンズクラブ

100周年記念事業として
盲導犬支援運動及び福祉演芸会

2016年12月18日、河芸ライオンズクラブ（29人）はライオンズクラブ創設100周年記念事業として盲導犬支援啓発運動及び福祉演芸会を河芸町公民館で開催した。

この企画は盲導犬育成事業を、地域やライオンズクラブ全体に呼び掛けるきっかけになればという思いから実施した。

三重県には、5頭の盲導犬しか派遣されておらず、希望者の要望に応えきれない現状があるため、これからも多くの盲導犬の育成が必要になる。盲導

犬の育成事業の資金は9割近くが、募金で賄われていることに鑑みて、地域交流の一環として演芸会の中で、啓発活動と募金活動が出来ればと考えた。そこで、中部盲導犬協会に協力を依頼し、当日は、盲導犬2頭とトリーナー2人が参加。受付横には、盲導犬啓発品販売のブースを設置し、2頭の盲導犬とメンバーで募金を呼び掛けた。

演芸会では、地区の中学校の吹奏楽部60人の演奏と、歌手4人の歌が披露され、盲導犬は普段の訓練の成果を舞台上で見せ

てくれた。演芸会の最後には、歌手と盲導犬が客席を回って募金を呼び掛け、多くの参加者に協力して頂いた。

17年1月10日には、当日の募金の寄贈式が、当クラブ例会場で行われた。

また、新たに3カ所の募金箱の設置が決まり、募金活動を継続している。

今回の取り組みを通じて、これからも盲導犬育成事業への支援協力を地域に呼び掛ける活動を進めていきたいと考えている。

（会長／井田和男）

大和高田ライオンズクラブ（吉川

修市会長／48人）は2016年11月26日、青少年育成委員会・地域社会委員会の事業として、大和高田市さざんかホールで邦楽鑑賞会を開催した。日本の伝承文化は、日本人としての教養を育むインフラの一つだという考えから、子どもたちに日本人の文化のルーツに触れてほしいという思いを込めての開催だ。

一流の尺八・箏・三味線・篠

笛・琵琶・打楽器などの演奏グループにお越し頂き「春の海」

「鶴の巣籠り」「尾上の松」な

335-C地区

奈良県・大和高田ライオンズクラブ

子どもたちのための邦楽鑑賞会
ー日本文化のルーツに触れるー

ど9曲の他、「ごんぎつね」を和楽器のミニオーケストラと楽しい語りで演奏して頂いた。その奥深い音色は、子どもたちのみならず来場した800人近くの皆さんの心に深く響いたと思う。

保護者、教師、児童から当クラブに寄せられた感想の一部をご紹介します。

●初めて見聴きする楽器に、娘は前のめりになって見入っていました。邦楽に興味を持つきっかけになればうれしいです。

●「ごんぎつね」は子どもにと

って馴染みのある物語でしたが、邦楽が交えられたことにより改めて物語を楽しんでいました。想像以上にすばらしいものでした。

●聴いたことがない楽器の音色は奇麗でした。いろんな種類の楽器があつて、全部音が違っていたので、作った人はすごいと思いました。（5年生）

今まで先輩方が行ってきた地域への奉仕活動を、更に発展させていく決意を新たに致した1日だった。（青少年育成委員長／岡本忠彦）

YCEを学び、今を見つめて 新しいYCE派遣生を発見!



2016年10月25日、337・A地区第3地区の第1、第2、第3分は合同でYCE事業研修会を開催した。会場は飯塚市コミュニティセンターで、林田俊一第2副地区ガバナーをお招きし、各クラブの会長、幹事、役員合わせて約125人が参加。講師は武田靖子(13・14年地区YCE委員長)にお願いした。

近年、337・A地区第3地区では派遣生「ゼロ」の状態が続いていた。そこで、派遣生を増やすためには、どうすれば良いのか、真剣に考え、取り組んできた。

第3地区内では「2017年夏、海外ホームステイ」という表題のパネルレットを作成し、募集要項と申込書をセットにして持参して、来日生を受け入れた経験のあるホスト・ファミリーの所へ、高校生16歳〜大学生21歳までの学生を紹介して頂くようお願いして回った。結果、16・17年の夏季YCE派遣生は337・A地区全体では17人、うち6人が第3地区から出るなど、成功に終わった。

合格した派遣生は外国を訪問し、一定期間滞在する。滞在先では家族の一員として、日常生活を経験するため、国際感覚が養われ、親睦と協調の精神も培われる。こうした派遣生の成長が日本の学校や日本の地域社会の活性化につながると信じている。

これらを紹介した今回の事業研修会を通して、当地区のYCE派遣生を増やす取り組みや、派遣する意義などを各クラブの皆様理解して頂けたのではないかと思います。(地区YCE委員長／秋元正幸、地区YCE委員／植田賢一郎)

2016年11月19日、弘前東奥ライオンズクラブ(山内竜一会长/119人)は、大山桜を10本植樹した。場所は青森県中津軽郡西目屋村の津軽白神湖近く。「津軽白神湖パーク」として整備が進められている緑地帯だ。今回の植樹は第一段階である。

西目屋村は弘前市に隣接しており、西目屋村役場は弘前市内から車で20分足らずの場所に位置している。弘前東奥ライオンズクラブは5年前、白神山地(西目屋村)にちなんだ白神支部も結成しており、西目屋村にはゆか

りがある。西目屋村の関和典村長は、当クラブの結成45周年記念特別例会に出席され、活動に深い理解を示されている。こうした経緯から、クラブ結成45周年記念事業、ライオンズクラブ創設100周年記念事業として大山桜植樹の承認を頂き、本年度実行となった。

1960年に完成した目屋ダムの再開発事業として、直下流60㊦地点に整備された津軽ダムにより形成される人造湖として出来たのが津軽白神湖だ。津軽ダムは西目屋村を流れる一級河

クラブ結成45周年 国際協会100周年記念植樹



川、岩木川上流部に建設されている。白神山地は屋久島と並んで93年に日本で初めてユネスコ世界遺産(自然遺産)に登録された。津軽白神湖パークには将来、200本の桜が植ええられる予定。当クラブでは湖を中心とした新たな観光地としてにぎわうよう祈りを込めて植樹した。

児童、生徒、家族が世界自然遺産を眺め、大自然を満喫するエリアとなり、弘前の桜の見頃が終わった頃に津軽白神湖の桜をめでてもらえれば幸いだ。

(名誉顧問／石戸谷忻一)



LIONS ON LOCATION

イギリス／ケタリング&ディストリト ライオンズクラブ
72歳、1,000マイルに挑戦

妻のジョアンが2004年に亡くなった後、夫のキース・オグレーは、ホスピスのための資金調達を目的としたシヨート・ウォークを2回実施した。生前妻はホスピスのために資金調達をする社会クラブに入っていた。不運なことに彼女自身ががんになったが、直接その価値を知ることが出来ると夫に話した。「彼女はホスピスで、慰めと尊厳の中で生きることが出来ました。この苦しい時期に彼女と私そして娘と孫娘は、ケアと思いやりをもって接してもらいまし

た」(オグレー)

その後、ライオンズクラブのメンバーになったオグレーは、今度はイギリス南西端から北端までを踏破することを決意した。既に71歳を迎えており、計画を聞いた友人たちは、彼の健康を心配した。成功する見込みゼロの馬鹿げた挑戦、と非難する人もいた。それでもオグレーは家の周囲で練習を始め、ガイドブックを見ながらルートのプランを練った。安全を第一に、車道は避けて遊歩道を歩くコースを選んだ。そして友人や家族、ラ

イオンたちの応援を受けて出発したのだった。

困難なハイイクだった。岩の上を飛び移って進んだ。長く険しい無数の丘を越えた。激しい雨にも耐えた。彼はリュックサックにクラブのバナーと、ハイイクの目的である資金調達についての説明を付けていた。ある時は、ティーンエイジャーたちが友達とのチャットを中断して、ポケットからコインを取り出し、募金箱に入れてくれた。また別の日には、車で彼の横を通り過ぎた女性がわざわざ車を止めて降りてきて寄付をしてくれた。ルート上にある街のライオンたちは、彼に食事や宿を用意した。オグレーは例会に出席し、モーパーズとデイズデールのメンバーたちは彼の誕生日を祝った。

オグレーは82日間で1132マイル(1822キロ)を踏破し、1万4700マイルの寄付を集めた。終着地にたどり着いた時、出迎える集団の中に、彼の子どもたちを発見した。彼らも自転車でイギリスを横断してきたのだ。

「私の子と孫たちです。ゴールを祝いに来てくれたんです」彼は誇らしげにそう語った。



私たちは、これまで奉仕に取り組んだ無数の仲間から多くを受け継いできました。ライオンズとしてこの奉仕の伝統の継続は光栄なことですが、この伝統を基礎として更に発展させていく責任もあります。

国際理事会長期計画委員会はライオンズの将来の進路を定めるという仕事を委ねられました。世界中のライオンズの意見を聞きながら、同委員会は「LCIフォーワード」(※注)と呼ばれる戦略計画を策定しました。これは、ライオンズに新たなビジョンと新しい方向を示すものです。我々のチームが、国際理事会の全メンバーや世界中のライオンズと協力しつつ、この計画の実施計画を立てる上で支援することが出来たのは極めて幸運だったと思います。長期計画委員会の尽力と識見の高いリーダーシップをたたえ、この仕事の一端を担い、皆様にLCIフォーワードをご紹介出来ることを誇りに思います。

心を込めて

LCIフォーワード・プロジェクトチーム：
スヴェイン・バーンツェン元国際理事（委員長）、
G・S・ホラ国際理事、ブルース・ベック国際理事、
エリック・カーター元国際理事、カーラ・ハリス元国際理事

(※注) LCI=Lions Clubs International (ライオンズクラブ国際協会) の略称
フォーワード=Forward (前へ、将来へ向けての意)

奉仕の今後の進化

LCIフオーワードを通して次なる奉仕の100年に対応するためのライオンズの計画

2015～17年長期計画委員会・・

ボブ・コリニュー国際会長、山田實紘前国際会長、ナレシユ・アガワル第1副会長、グッドラン・イングバドター第2副会長、ジュンヨル・チョイ第3副会長、ジョー・プレストン元国際会長、ジョセフ・L・ロブレスキー元国際会長、G・S・ホラ国際理事、エリック・カーター元国際理事、クロードット・コネイ元国際理事、ダグラス・A・ロジャー元国際理事

メルビン・ジョーンズが100年前に世界と分かち合った奉仕の精神は今も生き続けています。しかし今日では、1917年当時の世界を思い描くことはほとんど不可能でしょう。

馬や馬車が通りを行き交い、マスコミの主流はラジオと新聞で、人々は地域社会で直接顔と顔を向かい合わせてつながっていました。今では自動運転車の登場も間近となり、インターネットがグローバルな情報共有ネットワークを構築し、世界中の人々がソーシャルメディアや携帯電話によって結び付いています。デジタル化時代が産業化時代に取って代わり、そのことが、人々の奉仕する方法をも変えつつあります。

人々は新しい方法で寄付をしています。例えば、ハイチでは大地震の直後から毎秒1万件のテキスト・メッセージ募金が寄せられました。

人々はモバイル技術を使って奉仕の機会を探しています。2020年までには世界の人々の80%がスマートフォンを持つことになるでしょう。

更に、フェイスブックなどのソーシャルメディアとなると、総訪問者数は毎月1億7千万人に達しています。

人々は新たな方法でボランティア活動をしています。単発的なボランティア（継続的ではなく断続的なボランティア）は、世界中で人々が奉仕する最も一般的な方法となっており、これはライフスタイルが変化したこと、また組織よりも目的を支援

しようとする傾向が高まっていることによるものです。そして今、ボランティアはこれまで以上に必要とされています。

テクノロジーは人々が奉仕する方法を変えただけでなく、私たちに對するグローバルなニーズの高まりを明確に把握させてくれました。また、世界がリアルタイムでデータを集めて共有し、現在の新たな人道的ニーズを調査するためにも役立っています。私たちは携帯電話の画像、ビデオ、ソーシャルメディアを通じて被害を受けている地域社会の様子を知り、苦しんでいる男性、女性、子どもたちの顔を見ることが出来ます。その苦しみは世界、そしてライオンズに、立ち上がり行動することを訴

え掛けているのです。

私たちの次なる100年を定義

それでは、刻々と変化する世界の状況に対応するため、ライオンズはどのように変わればよいのでしょうか？ どうすれば、各地域社会と世界の高まるニーズを満たすことが出来るでしょうか？ また、世界からどのように見られたい、自らをどのように見たいと思うでしょうか？

ライオンズは100年の間、他に例を見ないような奉仕に取り組んできました。この奉仕の1世紀をたたえるには、私たちはかつてなく大きな夢を持たねばならないと気付きました。そして、変化する世界の高まるニーズを満たすには、将来への意欲的な目標を立てる必要があることも知りました。

ライオンズがその人道的インパクトを2倍、あるいは3倍に高めたとしたら、世界がどのように変わるか想像してみてください。更に何百万人が失明から救われ、貧困から抜け出すことになるでしょうか。予防可能な疾病にかからずに成長する子どもたち、あるいは学び、微笑み、希望を抱き、成功する機会を与えられる子どもたちは、どれほど増えるのでしょうか。



LCIフォーワードは、ライオンズが将来へのビジョンを設計し、遂行し、実現させるためのロードマップとして策定されました。そこには、人道奉仕を大きく拡大することで、世界の高まるニーズを満たすための戦略が含まれています。

しかし、ライオンズは変化を思い描くだけでなくそれを実現させます。だからこそ私たちは、奉仕の拡大

によって2021年まで毎年2億人を超える人々の生活を改善し、人道的な影響力を3倍にする、という目標を立てたのです。この目標を達成するには戦略計画が必要です。そして、あらゆるレベルのライオンズによる協力が必要です。また、今後新たに生まれてくる課題に対応するための革新も必要です。

毎年2億人に奉仕するという意欲的な目標を達成するために、過去2年を費やして世界中のライオンズ数千人から意見を集めた上で、国際理事会は新たな戦略計画を打ち立てま

した。ここに誇りを持って、新しいLCIフオーワード戦略計画をご紹介します。

LCIフオーワードとは

LCIフオーワードは、ライオンズが将来へのビジョンを設計し、遂行し、実現させるためのロードマップとして策定されました。そこには、世界の高まるニーズを満たすために、人道奉仕を大きく拡大するための戦略が含まれています。また、運営を改善し、新しいテクノロジーを活用し、会員としての経験が何よりも重視される組織となるように作られています。また、ライオンズというブランドをプロモーションする新しい

方法を創出し、奉仕の新しい在り方と革新を生み出すことで、より多くの人々を奉仕の目的の下に結び付けるものでもあります。

LCIフオーワードには以下の四つの重点エリアが含まれており、今後5年間にわたって私たちの行動計画の指針となります。

- 奉仕のインパクトと焦点の強化
- 社会イメージの再形成と知名度の向上
- クラブ、地区、組織の向上を追求
- 会員の価値の向上と新たなマーケットへの働き掛け

奉仕を強化

焦点を絞った奉仕プラットフォームによって、私たちはその人道奉仕を進化させ、インパクトを高めることが出来ます。常にそうであったように、ライオンズは今後も地域にあるニーズを満たし続けていきますが、各地域社会と世界では新たなニーズが生まれています。そのため、現在の奉仕を拡大すると共に、奉仕の新たな方法を見極める必要があります。私たちは、今後も名高い奉仕の伝統を守り発展させていくことにより、2021年まで年間2億人に奉仕するという目標を達成することになるでしょう。

達成の方法――

2017年にシカゴで行われる100周年大会で、最新のグローバル奉仕プラットフォームを発表します。ライオンズは引き続き視力を保護し、各地域社会のニーズを満たすことになりませんが、私たちは新たな奉仕の方法、地域を問わず遂行出来る最高の奉仕プログラム、各地域社会と世界中で奉仕のインパクトを追跡・測定するためのツールを提供していきます。

社会的イメージの再形成と知名度の向上

人々の多くはライオンズのロゴを知ってはいても、その活動については知りません。世界はライオンズが誰であり、どんな活動をしていて、どうすれば私たちの人道奉仕に参加出来るかを知るべきです。広報、グローバル広告、コミュニケーションの強化は注目度を高める方法であり、人生を変えるライオンズの奉仕について伝え、希望・変化・新たなボランティアの意欲を呼び起こします。私たちの目標は、世界中で最も有名なボランティア奉仕のブランドになることです。そうすれば、公共心に満ちた男女がライオンズに加わり、人類が直面する最大の人道的課題に



取り組むようになるでしょう。

達成の方法――

その土地の文化に合わせ、かつマーケティング対象に焦点を絞ったグローバル規模の戦略的マーケティングプランを展開していきます。公共心に満ちた人々をクラブへと呼び込むため、私たちは新たな方法で新たなマーケットに働き掛けるデジタル・マーケティング・プラットフォームの構築を進めており、モバイルアプリなどの新しいテクノロジーを提供することで、ライオンズが持ち運びやすいツールを使って奉仕し、追跡し、結束出来るようにします。テクノロジーはイノベーションを促し、イノベーションはライオンズを未来へ導くことになるでしょう。

クラブ、地区、組織の向上を追求

世界中のライオンズとそのリーダー

ーが向上出来るよう、私たちは支援に取り組んでいます。地区とクラブを向上させるには、新たな資料、テクノロジーの強化、支援の改善、そして力強いリーダーシップが必要です。つまり、ライオンズがあらゆるレベルで協力的・戦略的に取り組まなければなりません。そうして初めて、私たちは人道奉仕のグローバル・リーダーであり続けることが出来るのです。

達成の方法――

質向上プログラムを通じて、世界中のクラブと地区を強化していきます。その方法は、ライオンズへの入会とクラブの結成を容易にすること、またテクノロジーを活用して指導力育成・研修の機会へのアクセスを世界的に高めることにより、ライオンズのあらゆるレベルで運営を効率化することです。

会員の価値の向上と新たなマーケットへの働き掛け

年間2億人に奉仕するという目標を達成するには、新会員を確保する必要があります。ライオンであることの価値に焦点を当て、会員の経験を充実させることにより、私たちは新たなマーケットに働き掛け、新たな世代のボランティアを参加させることが出来ます。若い世代を私たちの仲間として呼び込むことに加えて、人々がボランティア活動を行う方法の変化を認識することも必要です。

達成の方法――

より多くの人々がライオンズクラブ国際協会を通じて奉仕に参加出来るような、新たな活動と方法を開発します。私たちは、単発的なボランティアを呼び込む新たなモデルの開発を進めると共に、これを補完する会員モデルや、CSR（企業の社会的責任）プログラムの拡大を目指す企業とのパートナーシップも構築して

いきます。

奉仕の次世紀を見据えて

ライオンズは奉仕の最初の世紀を通じて、常に直面する課題を受け入れてきました。毎年2億人に奉仕するというこの新たな目標を設定することで、ライオンズは今後も世界的な人道奉仕の最前線に立ち続けることになるでしょう。人類が直面する大きな問題が語られ、また解決される時、そこにはライオンズが関わっているはずで。そして、私たちは文字通り世界を変えることになるでしょう。

引き続き100年を通じた私たちの成果を振り返り、祝いましう。また同時に、私たちが奉仕の次世紀に達成出来ることにも目を向けようではありませんか。

なぜなら、100年はほんの始まりに過ぎないからです。

私たちは、2021年まで毎年2億人を超える人々の生活を改善し、人道的な影響力を3倍にする、という目標を立てました。

変化する世界に奉仕する

ライオンズがこれまで以上に重要とされる理由

100年にわたり、ライオンズは奉仕を続けてきました。私たちは大切な視力を守り、満足な食事を取れない家庭に食べ物を提供しています。予防接種を通して子どもたちの命を救い、災害によって破壊された地域社会を再建しています。最も弱い立場にある人々に手を差し伸べ、苦しんでいる人々に希望を与えています。私たちは心を配ります。私たちは重要な存在です。私たちは奉仕します。奉仕はライオンズの存在理由であり、私たちがクラブに加わるのも、とどまり続けるのもそのためです。来る年も来る年も、国から国へ、私たちはグローバルな影響力を高めつつ、ライオンズの取り組みとライオンズクラブ国際財団（LCIF）への支援によって世界中で多くの命を救い、暮らしを改善してきました。そして、世界でライオンズを求める声は、以前にも増して高まっています。

私たちはだからこそ、2021年

まで毎年2億人に奉仕し、人道的な影響力を現在の3倍にする、という目標を立てたのです。つまり、ライオンズは世界中のより多くの人々を支援出来るよう、その奉仕のインパクトを高めなければなりません。また、奉仕の最初の世紀をたたえる一方で、次世紀のニーズを満たす方法を見付ける必要があります。そしてこの目標は、私たちが新たなグローバル奉仕の枠組みを打ち立てる機会も与えてくれます。それは、ライオンズが各地で奉仕するあらゆる優れた方法を補い、私たちを将来へと導くものとなるでしょう。

奉仕はライオンズの存在理由であり、私たちがクラブに加わるのも、とどまり続けるのもそのためです。来る年も来る年も、国から国へ、私たちはグローバルな影響力を高めつつ、世界中で多くの命を救い、暮らしを改善してきました。そして、世界でライオンズを求める声は、以前にも増して高まっています。

ました。と同時に、やはりライオンズとレオの支援を必要としている新たなニーズの存在も明らかとなったのです。

新たなグローバル課題に対応

新たなグローバル奉仕の枠組みを構築するため、私たちは自らが支えてきたライオンズの歴史と奉仕分野を振り返りました。世界中のライオンズとレオにアンケートを行い、彼らとその地域社会にとって重要な分野を把握しました。また、データを調べて差し迫ったグローバルな人道的ニーズを特定し、ライオンズがそれらへの対応に手を貸せるかも見極めました。

この包括的なグローバル調査の結果、私たちが長く取り組んできた視力保護、飢餓対策、環境保全を今後支援することの必要性が確認されました。

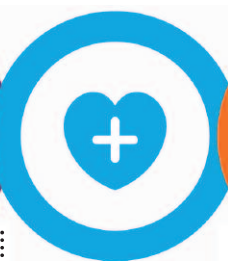
糖尿病は、21世紀最大のグローバルな健康危機の一つです。成人の11人に一人が糖尿病を患っており、それは腎疾患、妊娠合併症、視力を含む神経障害その他の重大な合併症を引き起こします。また糖尿病網膜症を発症し、重い視力障害のリスクを抱えることになる人々は、全糖尿病患者の3分の1を超えています。糖尿病は世界の死因の第8位であり、2015年の死亡者数は500万人に達しました。そしてこの数は、世界中で認識向上、新たな教育の取り組み、検査・治療プログラムの拡大が行われない限り、2030年までに大きく増加すると予測されています。



2017年にシカゴで行われる100周年大会で、糖尿病をグローバル奉仕の新たな焦点として発表します。



視力——私たちは今後も、目の健康を保護し、視覚障害者に奉仕することにより、視力を守り続けます。



糖尿病——世界にはびこるこの疾患の予防と管理に取り組み、患者を支援していきます。



飢餓——空腹のまま眠る子どもがなくなるよう、飢餓の撲滅と貧困の緩和に取り組みます。



環境——私たちの環境を守り、各地域社会と世界を万人にとってより良い場所にします。



小児がん——命を救う治療へのアクセスを拡大し、私たちを必要としている子どもたちを支援します。

す。

小児がんに関する見通しも、同様に厳しいものです。がんは児童の死因の第2位です。世界では2分間に一人の子どもががんと診断されていますが、その60%以上は、効果的な治療にほとんど、あるいは全くアクセス出来ない状況に置かれています。開発途上国では、がん治療のあらゆるレベルでの障壁が生存率を引き下げ、中にはわずか10%の国もあります。がんを生き延びた子どもも、衰弱したまま放置されることが多く、臓器の機能、身体の発育、学習する能力に影響を及ぼしかねません。

将来に向けた新たな奉仕のビジョン

ライオンズが変化する世界のニーズを満たしていく態勢を整えられるよう、私たちは2017年に新たなグローバル奉仕の枠組みを正式に導入します。これは、ライオンズを奉仕の次なる100年に備えさせるものであり、ライオンズは結束して視力、小児がん、環境、飢餓、糖尿病の五つのグローバルな人道的課題に取り組みます。

私たちは、青少年をボランティアや奉仕のリーダーとして、これら五つの奉仕分野に参加させる新たな方

法を編み出すことで、引き続き子どもたちへの支援という長い伝統を守り、発展させていきます。

この枠組みの奉仕分野はいずれも、地域と世界双方のニーズを満たす上で不可欠なものです。私たちは2017年にシカゴで行われる100周年大会で、糖尿病をグローバル奉仕の新たな焦点として発表することになっています。2018年のラスベガス国際大会では、新しい奉仕プログラム、パートナーシップ、LCIF交付金の機会を含めて、糖尿病に関する奉仕プラットフォームが全面的に導入されます。

LCIFは私たちの奉仕を支援し、ライオンズの取り組みをその慈善部門の活動と調整し、最も必要とされている地域で大規模かつ持続的な変化を生んでいくことになります。

新たなグローバル奉仕の枠組みは、ライオンズとレオに新たな奉仕の機会、会員を奉仕の精神に満ちた世界中の人々と結び付ける新しい方法、また奉仕の次世紀の課題に確実に対応していく新しい方法を与えます。

そして最初の100年と同じように、世界は私たちを頼りにしています。

Don't judge each day by the harvest you
reap but by the seeds that you plant.

— Robert Louis Stevenson

毎日をその日の収穫高
で判断せずに、まいた
種で判断しなさい。

— ロバート・ルイス・スティーブンソン

成長の種をまこう

変わりゆく全世界のボランティアを取り込むことで成功を確実に

全ては遠い昔、ごく小さなアイデアから始まりました。1世紀前にシ

カゴの街でメルビン・ジョーンズが
まいた一粒の種は、世界200余りの
国と地域に4万6千のクラブと1
40万人の男女を擁する地球規模の
ネットワークへと成長し、今も拡大
を続けています。ライオンズは過去
100年間、あまり例を見ないこと
を成し遂げました。つまり、生き抜
いてきたということです。

この実績を当たり前のように考え
てはならない

ライオンズが今も存続しているの
は、その仕事が無数の人々にとって
極めて重要であるからです。私たち
はライオンズとして大きく進歩して
きましたが、達成出来ること、変え
られる人生はまだ数多く残されてい
ます。それでは、どこから始めれば
よいでしょう？

それは今日、ライオンズと他のあ
らゆる奉仕組織が直面している世界

規模の変化に対応することです。

ボランティアの状況は変化してい
る

そして、それは根本的な変化です。
現代の人々にとって、自らの社会に
貢献する選択肢はかつてないほど増
えています。X世代（1960年代
初頭〜70年代生まれ）やミレニアル
世代（80年〜2000年頃生まれ）
は、ボランティア活動への姿勢がそ
れ以前の世代とは異なっています。

忙しい生活を送っていると、何をす
るにも時間が少なくなり、ボランテ
ィア活動も同様です。また、グロー
バル化によって世界中で人口動態の
変化が進み、社会にはあらゆる年齢
性別、人種、宗教の人々が入ってき
ます。

従って、誰もがライオンズに居場
所を持てるようにしなければなりま
せん。

私たちは長期的な成長と成功に向
けて態勢を整えられるよう、ボラン

ティア活動の世界的な変化を導いて
いる以下の問題に集中的に取り組ん
でいくことにしています。

単発的なボランティア活動——単

発的なボランティア（継続的ではな
く断続的なボランティア）は、世界
中でボランティアを志す人の最も一
般的な在り方となっています。つま
り、ボランティアを参加させ、奉仕
への意欲を持たせ続けるには、私た
ちは柔軟性を高める必要があるので
す。

「目的」対「組織」——1970年
代までは、人々は一般に組織に加わ
り、長くメンバーとしてとどまりま
した。しかし、もはやそうではあり
ません。ますます多くの人々が、自
分の支援したい特定の目的や使命に
よって広く知られた組織でない限り、
組織に加わるよりもその目的を直接
支援したいと考えるようになってい
ます。

テクノロジーの変化の影響力——
ボランティア活動に最大の影響を及

ぼしているのは、急速に変化す

るテクノロジーです。人々は現在、
スマートフォンでボランティアの機
会を探し、オンラインで目的を支援
し、資金集めや認識向上までインタ
ーネット上で行えます。人々を奉仕
によって結び付ける上で、テクノロ
ジーは重要な役割を果たすことにな
るはずです。

LCIフォーワードによる対応

地球規模の変化に対応するにはビ
ジョンが不可欠です。全体像をつか
み、変化を予測し、それに適応する
能力を持たねばならず、そのために
はLCIフォーワードのような戦略
計画が必要です。

LCIフォーワードでは、マーケ
ティング戦略を取り入れ、新たな奉
仕モデルを構築しています。これら



は奉仕の精神を持つ人々の新たな層と新たな世代に訴えるものとなるでしょう。主な戦略としては以下が挙げられます。

- 今日の単発的なボランティアと人々が貢献する方法を焦点に新たな奉仕モデルを構築し、クラブのモデルを補うこと
- 世界的に拡大を続け、戦略的に重要な地域で成長の機会を広げると共に、私たちが必要としているより多くの人々に新たな奉仕をもたらすこと

- 社会的目的、職業、文化、スポーツ活動を中心とするクラブなど、スペシャルティー・クラブの結成と推進を通して、人々が結束し奉仕する新たな方法を与えること

- 奉仕を焦点とした企業パートナーシップの構築により、地域社会に利益をもたらし、奉仕を目指す男女にライオンズを紹介するCSR（企業の社会的責任）活動に従業員とライオンズを参加させること

私たちは、変化に適応することが成長の唯一の方法であると知っています。そして、前に進む以外に道はありません。ライオンズは過去1世紀にわたり、奉仕のグローバルリーダーであり続けてきました。そして今後も、私たちを取り巻く世界の

変化に対応することにより、この誇るべき伝統を守り続けることが出来るでしょう。

創設者メルビン・ジョーンズがまいた奉仕の種を育んでいくには、全世界でボランティアを志す人たちの変わりゆくニーズを満たさなければなりません。そうすることで、私たちライオンズクラブは単にもう1世紀を生き延びるだけでなく、大いに繁栄することが出来るでしょう。

優れたリーダーシップがエクセレンスをもたらす

あらゆるレベルの偉大なリーダーが成功する理由



リーダーとは生まれながらのものだとも、作られるものとも言われます。しかし、全ての偉大なリーダーを特徴付ける紛れもない特質は、エクセレンス、つまり、優秀であるうとする向上心です。

エクセレンスは最終的に目指す目的地ではなく、一つの行程なのです。その達成には絶えず集中して取り組まなければなりません。常に優秀であるようにするには、向上への全力

投球が必要となります。エクセレンスに対するリーダーのビジョンが、その指導を受けるメンバーたちのビジョンと変わりゆく世界を反映し続けるようにするためには、リーダー自身が変えること、耳を傾けること、状況に合わせる必要があります。そして、これらのことを行った時にリーダーは、関わりのある全ての人々の心を揺るがす、驚くべきことを成し遂げることが出来るのです。

それこそがライオンズのビジョンです。

トータル・クオリティー・イニシアチブを受け入れる

優れた組織であるためには、質に注目し、ライオンズ・リーダーシップの全てのレベル、つまりクラブ、地区、組織のあらゆるレベルで、質の向上に取り組む決意が必要となります。その達成には以下の指針が役

立つでしょう。

●クラブは柔軟になること、会員を招請すること、奉仕中心となること、そして成長しようという前向きな気持ちを持つことによって前進するべき

●奉仕のインパクトについて掲げられた目標達成に向け、地区と複合地区はクラブを育て互いに協力し合うことにより、指導を行うべき

●ライオンズ国際理事会は斬新な戦略を打ち立て、成功を促す文化を構築することによって協会を前進させるべき

●運営は、ライオンズのメンバーに一層充実したサービスを提供することで彼らが地域社会でより良い奉仕が行えるよう、効率よく効果的なやり方を用いてあらゆるレベルのライオンズをサポートするものであるべき

エクセレンスへと導く

エクセレンスへと駆り立てる原動力の源はライオンズのあらゆるレベルのリーダーです。そしてその一人ひとりに果たすべき重要な役割があります。

協会——協会は絶えず内部の運営を検討・評価することにより、新しいことを取り入れて効率を上げ、メ

ンバーのニーズに対応していけるようにする必要があります。だからこそ、「財務フォワード」という、協会の重要なプロセスにおける組織効率アップを目的とするプログラムが立ち上げられたのです。クラブ結成手続きのオンライン化、アワードの発注から配送に至る業務の合理化、会員サポート・センターの強化、経費報告作業の単純化、スタッフ対象の研修の増加、翻訳サービスにおける効率化といったことが、現在行われつつあります。

地区——地区のリーダーは、クラブが順調に発展し成功し続けられるよう指導と意欲喚起を行います。地区リーダーがこうした重要な役割を担えるよう準備するため、協会は研修を拡大することによりリーダーを育て、その指導力を強化して彼らがより効果的にリーダーシップをとれるようにしていきます。つまり、より多くの研修の機会、より多くのオンライン研修ツールが設けられ、研修への参加を増やすと共に、エクセレンスを目指す上で重要な要素として一層重視されるということです。また、複合地区のリーダーも、ライオンズや奉仕することを検討している人たちのためにプログラムの内容を地域に合ったものに調整したり、

文化に密着したプログラムを考案したりする上で中心的役割を果たすこととなります。

クラブ——人々の奉仕の仕方が変わってきています。クラブもそうした変化に進んで合わせる必要があるのです。クラブは柔軟性を持つて変化を受け入れ、今日のボランティアの声に耳を傾け、進化し続ける彼らのニーズを受け止める用意がなければなりません。協会は、新たなリソースを新しい方法で届けることにより、クラブがより良い形で会員をまとめ、支援し、会員に役立つツールを提供していきます。

変革は内側から

偉大なことを成し遂げるには偉大なリーダーが必要です。協会を内側から改善することに目を向けることで、協会、地区、そしてクラブは一層力強いものとなるでしょう。そして、それは世界に誇る体験を生み出すのに役立ち、何年経とうともライオンズ会員の心をつかんで離さないことでしょう。

あらゆるレベルでリーダーシップの強化に取り組めば、エクセレンス達成は、単なるライオンズのビジョンではなく、ライオンズの未来となるはず です。

メルビン・ジョーンズは正しかった

成功を生んだ古い名言にデジタルの息吹を

ライオンズの創設者メルビン・ジョーンズは、世界を変える先見の明の持ち主でした。しかし、そんな彼でも、世界を根底から覆すような現代のテクノロジーの姿は、想像していなかったでしょう。

では、ますますデジタル化していくグローバル社会の中で、共同体、奉仕、絆、地域を変える影響力、そして人と人とのつながりといったライオンズの伝統を損なわないようにするためには、どうしたらよいのでしょうか。

その答えは、私たちの創設者が握っています。1917年、メルビン・ジョーンズは、シカゴ中から集まった男性たちに次の言葉を投げ掛け、世界最大の奉仕団体の基礎を築きました。

「意欲、知性、熱意によって成功を収めた者たちが、その能力を地域社会の改善のために活用したらどうなるだろう？ 他人に尽くすことから始めるのでなければ、人生の大は成

し遂げられない」

奉仕だけでなく人についてもよく理解していたメルビン・ジョーンズは、確固たる人脈を築き上げ、地域に影響力を持つキーパーソンたちの力を借りて、世界中で会員を増やしました。何より、彼は「人々が何を必要とし何を求めているか」の理解

に基づき、同じ理想を持った世界中の人々をつなぎました。それが、私たちが今日目にしているグローバル奉仕のムーブメントに大きな力を与えたのです。

そして現在、人と人がつながることは、かつてないほど容易になりました。モバイル端末の台数は48億を

突破、利用出来るデジタルのコミュニケーション手段は数十種類にわたり、地球上のどんなに離れた場所でも連絡の取れない所はありません。毎分、240万件以上のグーグル検索、70万件のフェイスブック・ログイン、278万回のユーチューブ動画再生が行われています。



テクノロジーが奉仕の未来を動かす

こうしたデジタル技術を活用し、新世代のライオンズを生み出すと同時に、既存の会員を新境地に至らせる大きなチャンスが私たちに訪れています。では、どうやればそれを実現出来るのでしょうか？

私たちは、メルビン・ジョーンズの伝統を、LCIフォーワードの中で生かそうとしています。いわば「メルビン・ジョーンズ2・0」とでも言うべきものです。それは、具体的には次のような取り組みです。

●デジタル・マーケティングの基盤
——国際協会では、ライオンズの会員と、まだライオンズを知らない人たちの、それぞれの関心事を

理解するために役立つ、業界最高レベルのデジタル・マーケティング・プラットフォームを開発しています。これが協会の広告及びPR戦略とリーチ（到達範囲）の拡大、メッセージの増幅、そして社会奉仕に参加する方法を探している人々とつながる新しい手段の構築において、重要な役割を果たします。

●ライオンズ・アプリ——ライオンズが奉仕し、つながり、外出先でも活動をすぐにシェア出来る新たな

な手段を与えるモバイル・アプリや、会員用アプリケーションを開発しています。テクノロジーが、世界中のより多くの場所でも多くの人に奉仕の機会を与え、ライオンズの影響力を拡大し、世界的な奉仕のムーブメントを盛り上げます

●MYLCI2・0——MYLCI

は、これまでよりシンプルで、ライオンズにとってより価値のあるものへと再構築が行なわれており、新しい機能も既に加わっています。例えば、クラブのチャーター申請をMYLCIで行うことが出来るようになりました。また、新しい

メッセージ・センターでは、クラブ間や役員間でのやり取りが可能です。MYLCIをより身近なサイトとしてご利用頂けるよう、アクセス権を役員だけでなく、一般レオやライオンにも広げていく予定です。今後のアクセス拡大とツールの充実にご期待ください

●デジタル版ライオン誌——2018年1月までに、ライオン誌の全

ての言語版でデジタル・マガジンが発行されます。これにより、モバイル端末で快適にライオン誌をお楽しみ頂けるようになるだけでなく、ボタン一つでSNSにライオン誌の記事をシェア出来るようになり、ライオンズが斬新なアプローチでデジタル時代に対応する準備が出来ていることを新規メンバーにアピールする格好のツールにもなります

メルビン・ジョーンズが健在であれば、1917年のこの示唆に富んだ名言に、少しひねりを加えてこう言ったかもしれません。

「意欲、知性、熱意によって成功を収めた者たちが、どこにいても、時間のある時いつでも、その能力を地域社会の改善のために活用したらどうなるだろう？ 他人に尽くすことから始めるのでなければ、人生の大成し遂げられない。ネットにつなげて、今すぐ始めよう」

そして、これがまさに、次世代のライオンズに働き掛けるために今、皆さんにお願いしたいことなのです。

毎分、240万件以上のグーグル検索、70万件以上のフェイスブック・ログイン、278万回以上のYouTube動画再生が行われています。

セカンド・センチュリー・アンバサダー

ライオンズをその先へ導く

「LCIフオーワード」戦略プランは、ライオンズが掲げる「年間の奉仕受益者の数を2億人にする」という目標を実現するため、新たなビジョン、新たなイノベーション、新たな奉仕の在り方を導入することで、行く手に待つさまざまなチャレンジに立ち向かえるようライオンズの準備を整えるものです。その野心的な目標を達成するためには、協会を前進させるような革新的なプログラムや最先端テクノロジーに投資する必要があります。こうしたLCIフオーワードの支援を可能にする特別プログラムが、「セカンド・センチュリー・アンバサダー」です。

イノベーションに投資する

「セカンド・センチュリー・アンバサダー」とは、ライオンズクラブ国際協会を前へと動かす、進歩的なライオンたちです。新たなグローバル奉仕の枠組みを立ち上げ、次の100年の基盤を作るために必要となる、

次のような先進的取り組みに進んで投資をする、先見の明の持ち主です。

- 目標を達成し、より多くの人に奉仕を行う上で必要となる、データ管理システムの構築、スマートフォン・アプリの開発、デジタル統合を実現するためのテクノロジーへの投資

- 近年叫ばれているさまざまなニーズを満たし、奉仕のインパクトを拡大し、ライオンズに新しい奉仕の手段を提供する、新たなグローバル奉仕の枠組みを導入

- ライオンズ・ブランドの認知度を高め、あらゆる地域や年代の幅広い層に入会を訴求するため、グローバル・マーケティング事業の拡大
- 世界に誇る奉仕体験を生み出す、研修、リーダーシップ育成、奉仕事業

の支援などを通じた会員体験の充実

お申し込みは今すぐ

LCIフオーワードのさまざまなイノベーションに必要な資金として5千ドルを投資し、ライオンズがこれまで以上に多くの人にインパクトを与える手助けをするのが、セカンド・センチュリー・アンバサダーです。500ドルはMJF表彰の対象となるLCIFへの寄付として、人生を変えるさまざまな事業に役立てられます。

ライオンズの未来に投資する情熱家の一人になりませんか。セカンド・センチュリー・アンバサダーになって、ライオンズの歴史に自らのレガシーを刻み込みましょう。

セカンド・センチュリー・アンバサダーのさまざまな特典

- 特製アンバサダー・ピン
- 特注メタル製カード
- ご本人と新会員1人の生涯にわたる国際会費クレジット
- 国際本部におけるご芳名の永続的顕彰
- MJF表彰の対象となる500ドルのLCIF献金を含む

secondcenturyambassadors.org



国際理事 だより



■国際理事
安井克之

(北海道・旭川東)

皆様こんにちは。北国旭川は春寒もやや緩み、花の便りが待たれる季節となりました。皆様にはご健勝にてライオンズムの高揚にご精進のこと、何よりとお喜び申し上げます。

就任から1年8カ月が経ち、残すところあと4カ月となりました。月日の過ぎる早さを痛感しています。

私は国際理事会では就任時から奉仕事業委員会に所属しており、先輩理事から奉仕の枠組みや戦略計画についてご指導を頂き取り組んできました。今期の委員会メンバーは、ヘルムート・マルハウア委員長(ドイツ)、副委員長は私のご指名を受け、委員はマダグネット・リン(台湾)、オンラインジェニファ・ウェア(アメリカ)、国際理事会アポインティーとしてオースティン・ジェニングス元国際会長(アメリカ)の5人で、本部スタッフは奉仕事業部のジーナ・プレンデキ部長が担当しています。当委員会の目的はあらゆるライオンズ・プログラムの方針を考案す

メルビン・ジョーンズの後継者として

ることで、現在私たちが取り組んでいる中には次のものがあります。

- グローバル・ボランティアの構造についての協議
- 事業予算の収支予想の確認
- 創設100周年記念奉仕チャレンジ
- 奉仕の枠組みの開発及びコミュニケーション戦略
- LCIフオーワード戦略計画
- レオクラブ・プログラム60周年記念行事計画

この中でも「100周年記念奉仕チャレンジ」は各クラブがまさに今、取り組んでいらっしゃる挑戦だと思えます。2018年6月までに1億人を超える人々に奉仕するという当初の目標はもうとうに達成されましたが、支援を必要としている多くの人々のために、更に力を尽くしていきたいでしょう。そして100年という大きな節目を祝おうではありませんか。「LCIフオーワード」はライオンズクラブが次の100年に向けて飛躍するための戦略です。

皆さんのクラブもこの計画に沿って奉仕の強化に努めてください。

創設者メルビン・ジョーンズはこんな言葉を残しています。

「他人に尽くすことから始めるのであれば、人生の大は成し遂げられない」

「真の友愛は人々がお互いに信頼と尊敬をもって生活し、働き、そして食を分かち合うところに生まれる」

ご承知の通り、創設100周年を祝う第100回国際大会が、ライオンズクラブ発祥の地アメリカ・シカゴで6月30日～7月4日に開催されます。メルビン・ジョーンズの志を胸に刻み、紋章のライオンのように過去と未来の両方を見据えるのに、これほどふさわしい機会はありません。「われわれは奉仕する」というモットーと共に友愛と寛容の精神をもって、世界の仲間たちとの相互理解と親睦を深めてください。多くの皆様のご参加を心より願っております。

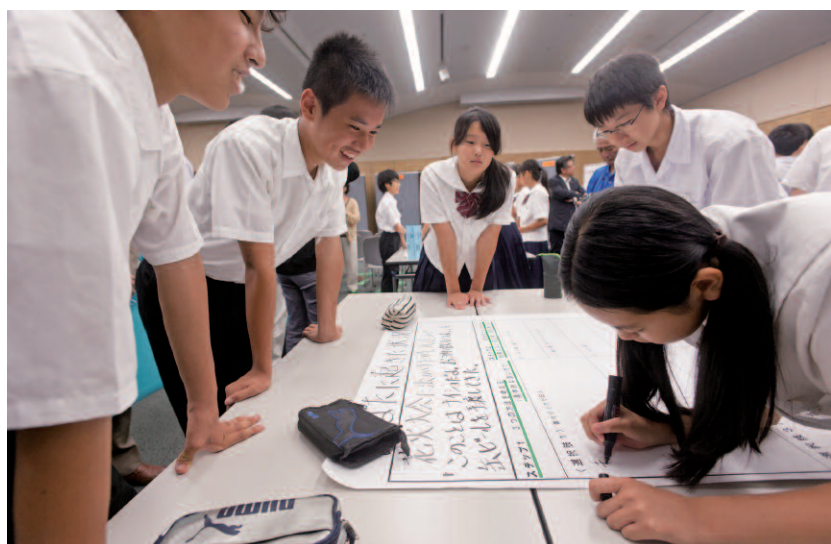
LIIONS NEWS CASSETTE

ライオンズクエスト・プログラム導入 入校に文部科学大臣表彰

1月17日、東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで、文部科学省主催のキャリア教育優良校表彰があり、ライオンズクエスト・プログラム実践校の富山市立大泉中学校が受賞校に名を連ねた。これは、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた学校等に対し、文部科学大臣が表彰することにより、キャリア教育の充実を促進することを目的としている。大泉中学校の受賞理由は「キャリア発達を踏まえ、ライフスキル教育を実践して10年、総合的な学習の時間に、年間1年生35時間、2・3年生は各20時間の合計75時間を当て、各学年がその発達段階に応じたプログラ

ムを実践し、キャリア発達の基盤となる能力や態度の育成に努めている」こと。

大泉中学校は、富山昭和ライオンズクラブ（嘉藤肇会長／105人）の支援で、2007年からライオンズクエスト・プログラムを導入。富山昭和ライオンズクラブは、校内研修会やワークショップの開催といった活動の他、プログラム説明員制度を考案して普及を促進したり、13年には情報共有を図るためにライオンズクエスト・フォーラム全国大会を開催したりといった新たな取り組みを実施し、同校のライフスキル教育をサポートし続けてきた。今回の受賞に当たって、



2013年のライオンズクエスト・フォーラムにおける大泉中学校の公開授業

大泉中学校の山本恵一校長と、嘉藤会長は次のように話している。

「富山昭和ライオンズクラブ様に10年間継続してご支援頂いたことが、今回の表彰となりました。大変感謝しております。今後もご支援お願い致します」（山本校長）

「10年にわたり支援してきたライフスキル教育が、文部科学大臣表彰という形で認められたことは歴代会長、委員長はもとより、全会員の誇りであり、これを励みに、今まで以上に普及活動にまい進していく所存です」（嘉藤会長）

30周年を迎えるライオンズ国際平和 ポスター・コンテスト

青少年に世界の平和の重要性について考え、そのビジョンを描く機会を提供するライオンズ国際平和ポスター・コンテストが、来年度で30周年を迎える。1988・89年度に始まったこのコンテストは、ライオンズクラブの目的の第一項にある「世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる」という思想に基づいて始まったプログラムだ。記念すべき第1回大賞を授賞したのは、奇しくも内戦下のレバノンに生まれ平和を知らずに育ったムスタファ・タワジー君だった。授賞式では当時のオースティン・ジェニングス国際会長が、次のようにこのコンテストの意義を語っている。

「世界の人々の間に相互理解の精神をつちかう——その努力の一端として、この国際平和ポスター・コンテストの構想が生まれました。つまるところ、相互理解は子どもたちから始めるに

越したことはありません。応募者の一人ひとりが、平和とはどんなものかを頭に描きながら、筆やペンを使って世界平和の大切さを訴え掛けました。彼ら全員が、美しいものを求める立派な平和大使なのであります」

これまでの大賞受賞者には、第4回の中島由紀さん（スポンサー／兵庫県・三木中央ライオンズクラブ）、第12回の中館理子さん（同／東京荏原ライオンズクラブ）の日本人2人が含まれている。今年度のコンテスト結果は3月4日の国連ライオンズ・デーで発表される予定だ。

第30回目となる2017・18年度国際平和ポスター・コンテストのテーマは、「平和の未来（The Future of Peace）」。応募作品はクラブ、地区、複合地区の段階を経て、国際レベルの審査へ送られ、大賞1点と優秀賞23点を選出され



第1回国際平和ポスター・コンテストの大賞受賞作品

る。大賞受賞者には5千ドルが贈られ、国連ライオンズ・デーでの授賞式に招待される。各クラブがコンテストをスポンサーするために必要なキットは、ライオンズクラブ国際協会日本事務所（TEL：03・3494・2931／FAX：03・3494・2933／lcijapan@amber.plala.or.jp）で販売。

2016・17年度上半期に交付されたLCIF交付金

2016年7月から12月までに承認されたLCIF交付金は254件、総額1887万4143ドルだった。

このうち、日本に対しては30件64万9212ドルが交付された。日本の各地区に交付された交付金は以下の通り。

■一般援助交付金 3件50032ドル

▼335・B地区Ⅱフィリピンの小学校建設と備品2万4510ドル▼335・C地区Ⅱ青少年支援センターにパトロール車両購入1万2522ドル▼335・D地区Ⅱミャンマーの小学校改良3万1千ドル

■国際援助交付金 7件11万7680円

▼330・A地区Ⅱミャンマーにコンピュータ支援7680ドル▼334・A地区Ⅱタイに車椅子支援1万ドル▼334・D地区Ⅱカンボジアの学校修復2万ドル▼334・E地区Ⅱ第42回フィリピン医療奉仕3万ドル▼334・E地区Ⅱフィリピン歯科医療奉仕3万ドル▼334・E地区Ⅱフィリピン歯科医療奉仕1万ドル▼336・B地区Ⅱミャンマーの井戸整備1万ドル

■緊急援助金 2件2万ドル



台風20号被災地救援に緊急援助金1万ドルを受けた332-B地区（岩手県）の援助活動

▼331・B地区Ⅱ台風救援1万ドル▼332・B地区Ⅱ台風救援1万ドル

■四大交付金 18件46万1500ドル（全てライオンズクエスト拡張）

▼331複合地区Ⅱ8万5千ドル▼332・A地区Ⅱ5500ドル▼333・A地区Ⅱ2万ドル▼333・E地区Ⅱ2万5千ドル▼334・A地区Ⅱ1万8千ドル▼334・B地区Ⅱ2万5千ドル▼334・D地区Ⅱ2万5千ドル▼334・E地区Ⅱ2万5千ドル▼335・A地区Ⅱ2万2千ドル▼335・B地区Ⅱ2万5千ドル▼335・C地区Ⅱ2万5千ドル▼335・D地区Ⅱ2万ドル▼336・B地区Ⅱ

2万3千ドル▼336・C地区Ⅱ2万5千ドル▼336・D地区Ⅱ2万5千ドル▼337・B地区Ⅱ2万5千ドル▼337・C地区Ⅱ1万8千ドル▼337・D地区Ⅱ2万5千ドル

ライオン誌日本語版デジタルが2月号からスタート

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物として20カ国語で発行されているライオン誌は、2018年1月号から統一フォーマットでデジタル化して国際協会公式ウェブサイト上で公開することとなり、現在準備を進めている。昨年7月から先行してデジタル版を開始した国際本部版(英語版)に続いて、今年1月号からはインド、スリランカ、2月号からは日本、韓国、3月にはドイツ、イタリアと順次、各言語版が試験運用をスタートする予定が組まれている。国際協会ライオン誌日本語版デジタル(左写真)は印刷版から会員向け限定のコンテンツを除いた内容。協会公式ウェブサイト(www.lionsclubs.org)



の「ニュースとメディア」内にある「オンライン言語版」で見ることが出来る。

なお、ライオン誌日本語版委員会が独自に発行するライオン誌電子版は、創刊号以来の全バックナンバーや本誌関連のその他コンテンツと共にライオン誌ウェブマガジンで配信中。閲覧方法は本号の表紙裏に記載。

会議録

■第6回ライオン誌日本語版委員会(1月12日) ①ライオン誌日本語版の運営②2017年1月号(12月20日見本/9万5800部発行)出来③2月号記事内容の確認④3月号以降台割(案)と主要記事予定⑤ライオン誌デジタル化⑥その他

■第2回複合地区会則委員長連絡会議(12月6日) ①前回会議要録の確認②ナッシュビル国際理事会決議事項要約の確認③「地区の選挙手順(2016年7月1日発効)」の確認④国際理事の資質要件ガイドラインの確認⑤複合地区会則改正案の検討

■第6回複合地区ガバナー協議会議長「ウェブ」連絡会議(1月16日) ①本日の会議進行について②複合地区会則改正案の検討について③MYLCIへの要望に対する国際本部回答(佐藤理事)④第63回年次大会への祝辞依頼の件⑤第99回福岡国際大会記念誌の発送について(不老ホスト委員長)⑥研究会・セミナーへの協力依頼と文書発信⑦第3回複合地区YCE委員長連絡会議「集合」開催のお願い⑧各種報告⑨各会議報告

新結成/復帰クラブ

■新結成クラブ

東京山王(大川あつ子会長/22人) ▼1月5日
認証▼スポンサー/東京石泉

■復帰クラブ

1月Ⅱ三重県・四日市U・ー

訃報

■献眼者

8月Ⅱ志土橋ユキエ(長崎県・諫早センチュリアン)

12月Ⅱ上原五郎(茨城県・鉦田)/荒井昌平(茨城県・水海道)/牧正己(愛知県・吉良)◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。

国際大会開催予定

第100回Ⅱ17年6月30日〜7月4日/アメリカ・イリノイ州シカゴ
第101回Ⅱ18年6月29日〜7月3日/アメリカ・ネバダ州ラスベガス
第102回Ⅱ19年7月5日〜9日/イタリア・ミラノ
第103回Ⅱ20年6月26日〜30日/シンガポール
第104回Ⅱ21年6月25日〜29日/カナダ・モントリオール

ライオンズの100年の歴史と奉仕活動の足跡を伝え、その真価を物語るストーリーの数々を紹介します。
写真とテキストは100周年ウェブサイト (lions100.lionsclubs.org) でも閲覧出来ます。

国際連合

SINCE 1917



第

2次世界大戦が激化する中、連合国の指導者たちは争いが終わった後を見据え、平和を守るための国際組織に関する協議を設けました。彼らは権限の無い国際連盟よりも強力な組織を作るべきだと考えました。ライオンズはこの考えの下に

結集し、1943年のクリープランド国際大会で、戦闘終了後の国際平和維持体制の構築を呼び掛けるアメリカ下院決議を支持することに決めました。

45年2月、ライオンズクラブの創設者メルビン・ジョーンズと他の全国団



ライオンズは国連と協力して世界中の恵まれない人々に手を差し伸べてきた

体のリーダーが集まり、ヘンリー・モーゲンソー、財務長官やアーチャー・ボルト・マクリーシュ広報担当、国務次官補と国際連合(国連)の結成について話し合いました。4月、ライオンズの本部は各クラブに対し、国連ウィークを催してこの取り組みへの支持を表明するよう呼び掛けました。

ライオンズクラブ国際協会は、国連憲章起草への助力を最初に求められた非政府組織(NGO)の一つです。ジョーンズとユタ州ソルトレークシティのD・A・スキーン国際会長、後の国際会長でカリフォルニア州ベンチユーラのフレッド・W・スミスが、憲章のNGO条項の考案に手を貸し、国連の人道的使命の策定に参加しました。国連憲章は45年6月26日、50カ国の代表によって署名されます。

2年後の47年、国連はその使命に対するライオンズクラブの重要性を認め、世界中の人々の福祉に尽力する国連経済社会理事会の顧問としての資格をライオンズに与えました。何世代にもわたって、ライオンズと国連は数々の目標を共有し、平和と繁栄の推進に力を合わせてきました。

78年に始まった国連ライオン

ズ・デーには、政府、ビジネス、非営利分野のリーダーが招かれ、世界の差し迫ったニーズへの対応策を検討します。この年次行事の目玉は著名な世界的リーダーによる基調講演、専門家のパネル・ディスカッションなどで、89年からはライオンズ国際平和ポスター・コンテストの授賞式も行われるようになりました。このコンテストでは青少年に、平和へのビジョンをそれぞれに表現するよう呼び掛けています。

国連ライオンズ・デーは、国連大使、ライオンズ、講演者、来賓がこの特別な関係を祝福するレセプションを織り込んで行われます。



2016年国連ライオンズ・デーでの国際平和ポスター・コンテスト授賞式



●宮城県・七ヶ浜ライオンズクラブ
あそぶさございん！
七ヶ浜deお正月



1月22日、七ヶ浜国際村で恒例の正月イベント「あそぶさございん！七ヶ浜deお正月」が開催された。「さございん」とはこの地方の方言で「おいでなさい」の意味。「あそぶさございん」は「遊びにいらっしやい」ということで、書き初めや福笑い、羽根つきなど、伝統的な正月行事や遊びを体験出来るコーナーが設けられ、家族で楽しめるイベントとなっている。

主催は七ヶ浜国際交流協会（斎藤敏昭会長）七ヶ浜ライオンズクラブで、ロータリークラブやライオンズクラブなど、町の各種団体が参加協力。会場の七ヶ浜国際村は高台にあり、東日本大震災の影響はなかったことから、震災以降も途切れることなく開催され、町民に元気を与えている。

七ヶ浜ライオンズクラブ（鈴木郁夫会長／19人）はこのイベントに毎年餅つきで参加。今年は7白分の餅をつき、七ヶ浜町特産ののりをまぶした餅

やきなこ餅、あんこ餅など、を振る舞った。また、会員がつき終えた後、子どもたちにも餅つき体験をさせて、喜ばれている。

七ヶ浜町（寺澤薫町長）七ヶ浜ライオンズクラブは仙台湾に突き出た七ヶ浜半島を町域としており、江戸時代に基部を横断する形で貞山運河が設けられたため島のような状態となっている。湊浜、松ヶ浜、菖蒲田浜、花渚浜、吉田浜、代ヶ崎浜、東宮浜と、海沿いに七つの集落があったことからその名が付いたように、海に面した町で、東日本大震災では町域の36・4%が津波で浸水。住宅被害は全世帯の約6割に及んだ。震災前、13・27平方キロだった町の面積は現在、津波の影響により13・19平方キロに減っている。また、北洋漁業発祥の地と言われ、基幹産業となっている水産業も大きな打撃を受けた。そんな中、七ヶ浜町では町民の声を大切に、既存コミュニティに配慮した



復興計画を策定。住宅に関しては、地域ごとに高台への集団移転や災害公営住宅を整備する計画が進められた。震災から6年が経った今年、それらの事業が完了し、この3月をもって仮設住宅が全て閉鎖されることになっている。

一方、七ヶ浜ライオンズクラブは辛い、震災での人的被害や住宅の損壊はなかったが、多くの会員が事業所など仕事面で被害を受け、震災1年目はゾーン・チエア・パーソナル経験者らが中心となってクラブの基盤整備に当たった。その後、クラブとして仮設住宅や学校への備品支援、中学生への教材支援、小学生への給食牛乳支援などを実施。震災関連アクティビティの総額は約800万円に上っている。

（取材／鈴木秀晃）

世界中のライオンズからの支援に感謝

鈴木國男

(宮城県・七ヶ浜ライオンズクラブ)

すずき・くにお 1941年七ヶ浜町生まれ。鈴木國男商店代表。86年から七ヶ浜町議会議員を6期務めた。87年7月入会。2010-11年度ゾーン・チェアパーソン。

地震の時は、町議会議員として3月の定例会に出席していたため、町役場3階の議場にいました。今まで経験したことのない激しい揺れで、議場はすぐに閉鎖され、午後3時過ぎには役場から3キロほどの場所にある自宅へ戻りました。

七ヶ浜の震度は5強で、もちろん物が落ちたりということはありましたが、地震そのものの被害はほとんどありませんでした。また、私の自宅は多賀城寄りの遠山という高台の地域なので、津波の影響もありませんでした。しかし、代々受け継いできた田んぼが自宅の下の方にあり、そこに海水が入ったのには驚きました。

私は18歳の時にチリ地震津波を経験しているんですが、七ヶ浜は沿岸部での被害はあったものの、今回のような壊滅的な被害ではありませんでした。東日本大震災では地震から約1時間後に第1波が到達し、最大12・1メートルの津波に町がのみ込まれました。何しろ町の3分の1が流されてしまったんですから……。

七ヶ浜は三方を海に囲まれているので、東北と言っても比較的温暖なんです。3月はまだこたつが手放せない季節なんです。ただ、電気はだめでも、我が家は

ガスがプロパンだったのと、集落に井戸を作っていたので、それでお湯を沸かし、湯たんぽに入れて暖を取りました。議員の時、阪神・淡路大震災の被災地、神戸を視察させてもらい、その時、水の重要性を聞いていたので、帰ってから井戸の確保を訴えていました。日本はいつ何時、災害があるかわかりませんから、日頃からの備えは本当に大事ですね。



2008年、332-C地区第3ゾーンの第1合同事業として、七ヶ浜国際村に建立した記念碑

入れて持ってきてくれたんです。温かいご飯を口にするのは久しぶりで、頂いた人たちは皆、感激していました。

新庄もがみライオンズクラブはその後、繰り返し救援物資を運んでくれました。また、北海道・小樽みなとライオンズクラブを始め、今まで全く接点なかった、各地のライオンズから支援の手が差し伸べられ、ライオンズクラブの友情と行動力を改めて認識しました。

また当時、ゾーン・チェアパーソンをしていたので、被災した各クラブとキャビネットの窓口となつて支援活動に携わったり、東京のライオンズからお誘いを受け、東京駅八重洲口での募金活動に参加させてもらったりもしました。東京での募金活動では、一般の方が「がんばってください！」と1万円札を募

金箱に入れてくださったたり、人の温かさに涙が出ました。その時のことは絶対に忘れません。

この震災で日本中、世界中のライオンズから支援して頂き、本当にありがとうございました。言葉では言い尽くせないほどです。皆さんから支えて頂いた恩返しに、今後も精いっぱいライオンズ活動に励みたいと思っています。ありがとうございました。

国境を越えて 貧困と闘うライオンズ

近

年、最も経済成長の著しい国の一つ、インド。その一方

で、人口の約半分の人々が安心して暮らせる場所を確保出来ていないとも言われている。

そんな中、アイルランドの

ライオンズは地元インドのライオンズと連携し、農村地帯の貧困層に支援の手を差し伸べた。アイルランド106・I地区のライオンズは、インド324

・A4地区のアルニ・シルク・シテイライオンズクラブと協力し、女性の自立と、貧困からの脱却を支援。ライオンズ

クラブ国際財団（LCIF）から四大交付金5万ドルを受け、独身女性や夫と死別・離別した母親を対象に、小規模事業の立ち上げを援助するマイクロエンタープライズ開発プログラムを開始した。LCIF

はこのプログラムが女性たちを技術的・資金的に支援し、経済的自立を後押しする良い機会になると期待している。

また、アイルランド、インド両国で貧困対策を行う非政府団体もこのプログラムに参加し、独立資金の貸し付けを行

っている。プログラムを利用する女性の多くは読み書きが出来ず、単純労働や下働きで得た収入で一家を支えている。彼女たちは、インドの階級制度の中で最下層に当たる

し付けられ、25カ月間で1%の利息が適用される。資金の利用方法はさまざま。牛を買い、牛乳を売ることによって継続的な収入を得る人、ミシンを買いお針子として安定した職



貧困層向けの事業支援ローンは、女性たちを貧困から救い、家族に新しい生活をもたらす機会となる

タリットに属し、通常クレジットカードを持つことが出来ず、ローンも受けられない。このプロジェクトでは、1人に対して2万5千^{ルピー}（約4万2千円）がローンとして貸

に就く人、また、地元にな小売店を開き、スナック菓子や飲料を売って生計を立てる人もいる。いずれにせよ、経済的自立を果たした女性たちは、自活し教育を受ける新し

い人生をスタートさせることが出来た。

アイルランドとインドのライオンズは、あらゆるプロセスで活動を支える。共同委員会を設置し、財政管理や、プログラムの認知活動、ローン受給者に対する事業予算の組み方の指導などを行った。

ルルド・メアリーさんは、モラナムという貧しい村に住む未亡人で、ライオンズのローンを利用した一人だ。電気も無い小さな小屋で二人の子どもと暮らし、農場での日雇いの労働で生計を立てていた。今は、ローンで買った牛のおかげで牛乳や肥料を売り、日々の暮らしを構築しているようになった。

2014年以来、インド、スリランカ、ネパール、アイルランド、ケニアの5カ国で計六つのマイクロエンタープライズ開発プログラムが実施され、LCIFは合計47万5千ドルの交付金を拠出した。それにより1200件のローンが成立、貧困層の女性たちの自立を実現させている。

（カッサンドラ・ロトロ）

LCIF FILE

LCIF Development Update

LCIF献金現況報告

献金額単位：ドル

2016年12月31日現在

地区	献金額	1人当たり 献金額	1人当たり 前年度献金額	MJF口数	クラブ 参加率
330-A	351,575	77.0	38	272	45.0%
330-B	414,920	102.9	118	280	86.1%
330-C	128,485	64.1	51	83	65.9%
330複合	894,980	84.4	71	635	64.1%
331-A	197,516	85.3	121	147	76.7%
331-B	71,720	31.6	56	48	50.6%
331-C	64,709	40.2	56	44	52.9%
331複合	333,945	53.9	80	239	60.3%
332-A	76,615	42.9	33	54	68.8%
332-B	69,773	44.5	70	40	86.8%
332-C	112,943	81.7	79	98	67.2%
332-D	133,898	66.7	104	124	73.6%
332-E	48,885	29.1	41	41	37.5%
332-F	34,639	32.5	59	26	27.3%
332複合	476,753	50.3	62	383	62.1%
333-A	146,498	56.6	50	108	60.8%
333-B	77,139	67.6	92	67	58.3%
333-C	131,297	44.3	78	107	45.9%
333-D	115,961	65.7	109	93	75.9%
333-E	215,678	73.7	85	184	54.9%
333複合	686,573	60.3	80	559	56.3%
334-A	934,438	205.9	283	904	72.5%
334-B	209,660	68.1	89	182	62.8%
334-C	162,730	55.3	97	136	62.5%
334-D	376,051	98.6	97	335	80.4%
334-E	123,260	65.5	124	114	55.8%
334複合	1,806,139	111.1	150	1,671	68.6%
335-A	73,558	38.1	60	58	38.3%
335-B	526,502	103.0	120	439	79.9%
335-C	253,581	68.8	103	188	75.7%
335-D	87,664	51.4	120	70	90.6%
335複合	941,305	75.7	105	755	72.5%
336-A	307,963	60.0	63	252	65.3%
336-B	120,836	42.1	66	41	49.5%
336-C	197,066	63.2	62	145	74.0%
336-D	89,468	29.7	69	48	62.4%
336複合	715,334	50.6	64	486	63.1%
337-A	223,410	52.1	115	179	59.5%
337-B	123,605	56.2	60	97	44.9%
337-C	193,538	71.0	124	148	62.5%
337-D	57,129	25.6	55	44	32.9%
337-E	51,635	33.0	55	40	41.4%
337複合	649,317	49.9	90	508	49.9%
全国	6,504,345	69.6	91.6	5,236	62.4%

燃えよ！ ライオン！

LCIF Development Update

L C I Fは2018年度に迎える創設50周年を記念して、世界で5千万ドルの献金目標を掲げており、

今期はその記念献金の5年目に当たります。おかげさまで日本は「LCIFを通じて世界に奉仕する」という意識が強く、貢献度は高く評価されています。各クラブはそれぞれの地域で

活動を展開していますが、国際協会はLCIFを創設し世界に向け奉仕活動をしています。会員の皆様には二つの目を持ち、片方の目は地域を見守り、もう一方の目は世界に向けて頂きたく期待を更に深めています。私が所属する336・A地区に多額のMJF献金をされている会員がおられます。その方は「世

界には困っている人がたくさんいる。本来ならその土地に向き奉仕活動をしなければならぬが、幸いにも我々はLCIFを通じてその役割が果たせる」と話しています。まさにライオンの精神そのものです。現在、日本では「クラブ参加率100%」「会員一人当たり100ドルを目標に献金0を無くす」「MJF献金（千ドル）へのご理解とご協力を促進する」とを基本方針に、本年度の献金

目標を900万ドルとしています。日本のライオンの底力は相当あり、自然災害等も増える中、クラブ会員が一致団結し、世界の人々に対して奉仕の輪を広げようとしています。会員の皆様方にご負担をおかけしますが、救われる人々の笑顔を想像してみてください。決して対応が来ない金額ではないと思います。よろしくお願い致します。（336複合地区LCIFコーディネーター／橋本充好）

獅子吼

心のバリアフリー

遠藤 隆一（山形県・米沢松川）

平成26年、山形県南陽市を拠点に、障がい者等用駐車区画の整備等、バリアフリー推進活動を展開する奉仕団体「Gratitude（グラッティテュード）」は誕生しました。代表を務めるのは「車椅子のケンボー」こと、加藤健一氏36歳です。

私と彼の出会いは今から3年前、満開に咲き誇る桜の下。共通の友人に連れられ、ライトアップされた夜桜の中を無邪気に車椅子を走らせ歓喜する彼の姿に心動かされた私は、数日後改めて彼の元を訪ね、その後間もなく結成されることになる当団体にメンバーとして迎えられました。

さかのぼること昭和55年、南陽市に生まれた彼は、自動車が大好きな少年、青年時代を過ごし、高校卒業後は自動車会社の社長を夢見て自動車工場に就職しました。しかし夢半ばの21歳で体に異変が現れ、難病「筋ジストロフィー」の診断を受けます。その後も長期療養を余儀なくされ、医師からは仕事

への復帰は困難と宣告されました。それでも彼は夢を諦めず懸命にリハビリに励み、不可能と言われた職場復帰を果たします。が、病気の進行により退職を選択せざるを得なくなるのです。その後、厨房設備を製造する地元企業に就職、在宅勤務可能な設計業務に従事するも、32歳で自力歩行困難となり、完全に車椅子での生活となったのでした。

めっきり外出の機会は減り、自身の境遇を嘆き悲しむ毎日。友人とも距離を置き塞ぎ込む日々が続きました。しかし、そんな彼を救ったのもまた友人でした。

「俺らの関係は変わらない。お前と一緒に闘う」

親友の言葉に奮起した彼は平成26年、有志を募り団体を結成。英語で「感謝」を意味する「Gratitude」と名付けました。平成28年には県内初の山形県バリアフリー観光ツアーセンターを設立し、全国のメディアに取り上げられる

までになりました。

「僕たちはバリアフリーのお店に行きたいわけじゃない。みんなと同じようにおいしいお店でご飯が食べたいし、みんなと一緒に温泉や映画も楽しみたい。ちょっとしたアイデアや工夫でそれが可能になる。みんなと一緒にワクワクしようじゃないか」

私の胸に突き刺さった彼の言葉、思いこそが、私たちライオンの目指すべき奉仕の姿ではないでしょうか。

数人でスタートした団体も今では約30人まで増え、私たちが青いペンキで塗装した車椅子マークの障がい者等用駐車区画は、約3年で県内18カ所まで広がりました。そして彼は昨年、果敢にも県内初、車椅子でのパラグライダー・タンDEM・フライトに挑戦、見事成功する姿を全国に向けて発信しました。これからも彼は挑戦し続けるでしょう。なぜなら、それが多くの人々に勇気を与え、また挑戦こそが自身の生きる力であり、生きた証であることを知っているからです。彼は言います。

「いつか自分の活動が必要なくなるのが夢。その時にはバリアフリーが当たり前前のこととして実現しているはずだから」

その日が来るまで私は、私たちは、ケンボーと一緒に闘い続けます。

●獅子吼(しく)

①私が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えている語。

②大いに熱弁をふるうこと。(広辞苑)

●投稿要領：

会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度



地元の溪流を観光スポットに

伊原 弘實(千葉県・上総)

あれは昭和64年の正月でした。いとこに「この地名は亀山だから、亀の縁起を担いで何かを始めたいね」と話をしました。その時は既に亀のイラストを考えていて、「近くの田んぼの端の岩肌に壁画を掘りたいんだ」とも言いました。しかし、仕事の忙しさにまぎれ、そのまま時が過ぎていきました。

千葉県君津市の旧亀山村は昭和29年の町村合併で上総町となりましたが、久留里線の上総亀山駅や、亀山温泉、

亀山湖などにかつての名を残しています。平成13年、亀山湖がある笹川の上流に片倉ダムが出来、同時に五つの公園が整備されました。翌14年の正月、私はその公園の一つである清水溪流広場の安全柵につかまって、「川廻し」の手掘りのトンネルを、ただ漠然と眺めていました。すると、突然その姿が目

に飛び込んできたのです。「あれ、あの岩、亀の甲羅に似ているな。頭もあるぞ」

よしこれだ、これでいこうと、仲間にも見せて確かめてもらい、ここを観光スポットにしようという活動が始まりました。「亀の子会」を6人で結成。そのトンネルを「亀岩の洞窟」と称し、1年間、毎日時間を変えてデジタルカメラを持って出掛け、写真を撮り続けたのです。

2月初旬、洞窟に差し込む朝日に川から上る水蒸気が白く輝き、川面に映ったシンメトリの景色と合わさって、見事なまでのハートが形作られました。

これはすごい新発見だ、これはいけるぞ、と胸が躍りました。

このトンネルは、蛇行する川を短くするため江戸時代に掘られたもので、360年ほど前の洞窟です。この特殊な河川短縮工法は上総南部に見られるもので、川廻しと呼ばれ、切り離された元の川の蛇行部分には土を盛り、田んぼとして利用する目的もありました。私は写真を撮ってはラミネート加工をして配ったり、あちこちに貼ったりして宣伝を続けました。

3年経ち、5年経ち、次第に多くの人がこの亀岩の洞窟を訪れるようになります。平成28年は多い日には1万人を超え、バスツアーも増えて、127台になる日もありました。テレビ報道は全主要局が訪れ、新聞雑誌等でも記事掲載。スマートフォンの普及に伴い、インターネットで検索した大勢の人たちで大混雑するという、夢に描いていた通りになったのです。

亀についてもいろいろ調べたのですが、今となってはその亀の力がまざまざと感じられます。北極星は地球の自転軸の中心にあり、その北極星には神様であり仏様でもあると言われ北辰菩薩様とも呼ばれる妙見菩薩様が宿り、妙見様の神使は亀です(本地垂迹説より)。この洞窟の亀岩の傍らに菩薩様が鎮座している、その光景に皆さん驚いてい

ます。

これからは訪れた人々が絆を深められるように、二人が手でハートを作って記念写真を撮る、ラブリースポット

にしようと企画を進めているところで。また聖なる地、神聖なる洞窟としても広めていきたいと、強く願っています。
(93年人／68歳)

水源林にミズナラを植樹

深沢 哲（山梨県・甲府南）

黒平と書いてクロベラと読む。随分山の奥であるこの場所は、スマートフォンや携帯電話の通話も出来ないくらい。どこを眺めても、山である。

6月の下旬、黒平の郷では、甲府市

や市水道局主催のミズナラを植樹する「水源林植樹の集い」が催される。甲府盆地の平坦な地域から車で約1時間半、蛇行した道を登り続けて参加するのはいかにせん難儀なことで、ご苦労といか言いようがない。

日本には「こんな所に」と言われるような場所にも人が住んでいるものだが、方向も分らないほどの山の奥で、まるで山道を無理矢理舗装して整えた人力は、これほどの狭隘な地域にあって甲府盆地との往来をわずかに可能にした。

戸数は20に満たない。人が住んでいるのはその半分くらい。若者は平地に下りてしまうから、ほとんどが70歳を超える老人で、典型的な限界集落であろうと推測される。

集落には広場と公会堂が一つずつ存在する。その広場に水源林植樹の集いの幕が張られ、貴賓客の席が作られ、広場の真ん中辺りに敷かれた観客用のブルーシートに腰を下ろし、式典が始められた。

広場はぬかるんでいた。前日の雨のせいに違いなく、敷き詰められたシートからも泥水が染み出ているようで、皆、シートの上に板やビニール袋、参加する時にもらったうちわを敷いて、梅雨前の新緑の空を仰いでいた。空はすっかり晴れ上がっていた。好

釜石はまゆり飲食店街

屋台村プロジェクトは、震災で真っ暗になった街に灯りをともし元気を取り戻そうと、LCIF東日本大震災指定交付金の支援を受けスタートしました。

釜石はまゆり飲食店街

岩手県釜石市鈴子町14

<http://kamaishi-town.com/PDF/kasetu6.pdf>

<https://goo.gl/QL3XwN> (Facebook)



晴であろう。

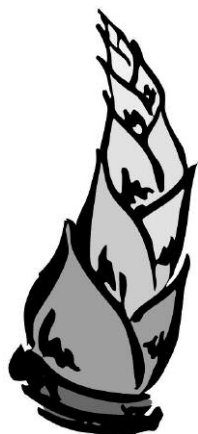
「これから水源林植樹の集いを始めます」

司会者がマイクで威勢の良い声を張り上げている。

「市民憲章斉唱」

緑のスカーフを巻いた中学生が壇の横に4人集合し、「1 まじめに働き、栄える町をつくります」から「1 教養を高め、文化の町を作ります」まで、5項目の憲章を斉唱した。

開会式が終わり、いよいよミズナラ900本の植樹が始まった。苗木は広場から5分くらい登った小高い山の斜面から中腹まで、なだらかな道沿いに横たえられていて、既に植えるのみの状態に整えられていた。唐鋤^{とうくわ}で穴を掘り、苗木を植えていく。その折、忘れてはならないのは、住所と氏名を書き



込んだ松の枝の木版をつるすことである。その時からそのミズナラは、その人の所有物になったということだ。しかし果たして、また来年この集いに参加した時、自分の名前のプレートが付いた苗木を見つけられるかは全くの疑問である。それを記憶に残しておくような奇特な人は、まれとしか言いようがないであろう。

植樹を終えた人々は中央の広場に戻り、シートに腰を降ろして昼食を待つ。

不滅の古関メロディー

我々のシートは、水道局が振る舞うけん汁の賄い場のそば、クルミの木の枝陰に敷かれていた。参加者の女性メンバーがけん汁を人数分、シートの真ん中辺りに置いてくれた。温かい汁が冷めないうちに、クラブがしらえたおむすびと共に口にした。

時間は解散を告げ、談笑はしばらく続き、また、もと来たバスの乗り合い場所から1時間半の帰路に付いたのであった。

（元クラブ会長／06年入会／64歳）

橋本 収三（広島県・世羅甲山）

「ひろい世界をひとつに結ぶ／同じ志の手と手に通う……」
ご存じ「ライオンズクラブの歌」の出だしの部分です。

この歌が最初に歌われたのは1959年、京都で開催された第5回302地区年次大会だそうです。現在では毎日のように全国各地で歌われていることでしょう。私も毎例会、声高らかに斉唱しています。そこには不思議とメンバーとの連帯感が生まれ、クラブ活動へ

の高揚感も湧いてくるのです。これは、藤浦洸氏の詩もさることながら、作曲家古関裕而氏の音楽に見る類まれなる感性によるものに他なりません。

古関氏は戦時の一時期軍歌も作っています。

「勝ってくるぞと勇ましく誓って故郷を出たからは手柄たてずに死なうようか……」で始まる「露営の歌」、「あああの顔であの声で手柄たのむと妻や子がちぎれる程に振った旗……」の「暁

に祈る」そして「愛国の花」「ラバウル航空隊」などの話題作もありますが、何といっても大戦末期、空前のヒット曲となったのはあの「若鷺の歌」でした。

「若い血潮の予科練の／七つボタンは桜に錨／今日も飛ぶ飛ぶ霞ヶ浦にや／でかい希望の雲が湧く」

南の戦陣に散った多くの若者がこの歌に陶醉し、声を限りに歌ったのです。

このことが、曲を作った古関氏の心に重く強くのしかかる結果となりました。故に後年何度か薦められた国民栄誉賞を固く辞退されたと聞いています。

大戦後、古関氏の活動は、戦災孤児を取り上げたラジオドラマ「鐘の鳴る丘」のテーマ曲を始め、「夢淡き東京」「フランチェスカの鐘」「雨のオランダ坂」「高原列車は行く」「長崎の鐘」「君の名は」と、格調高い歌が次々とヒットしました。

「長崎の鐘」は、長崎で自ら被爆しながら負傷者の救護に尽くしたクリスチヤンで医師の永井隆氏が書かれた同名随筆をモチーフにした曲で、映画化された際には主題歌になりました。「君の名は」は菊田一夫作の連続ラジオドラマ（1952～54年放送）で、大戦末期から戦後に掛けて、話の舞台が東京、佐渡、北海道、九州と移る、若い男女のすれ違いを描いたラブストーリーです。放送中、古関氏奏するハモンドオ

ルガンによるBGMがドラマを一層盛り上げていました。放送日には銭湯の女湯が空っぽになるという「神話」まで生んだ伝説的なヒット作品でした。

古関氏の得意ジャンルにスポーツ音楽があります。阪神タイガースの応援歌「六甲嵐」、巨人軍の応援歌「闘魂こめて」、そして、早稲田大学の応援歌「紺碧の空」、慶應義塾大学の応援歌「我ぞ覇者」、また甲子園球児には聖歌とも言え

る「栄冠は君に輝く」、更にNHK「スポーツショー行進曲」、64年の「東京オリンピックマーク」など勇壮にして清潔感あふれる名曲の数々。

作曲家古関裕而氏が残した珠玉の楽曲は未来永劫、日本人の記憶の中にさんなと輝き続けることでしょう。

我が古関メロディーは永久に不滅です！

（元ゾーン・チェアパーソン／74年入会／82歳）

亀山ライオンズクラブの元気な大先輩

石井 身佳子（三重県・亀山）

「ワクワクして、ゴルフの前日はなかなか寝られません。朝は目覚ましより先に目が覚めます」

「長田さん、小学生の遠足みたいですわね」

ゴルフ歴53年、御年81歳、当クラブ・メンバー長田幸夫との会話です。

昨年は海外でのプレーも楽しめました。驚いたのは、気温40度を超すタイで3ラウンドした時のこと。セントレア（中部国際空港）に早朝帰国し、そのままご自宅を通り過ぎて地元のご

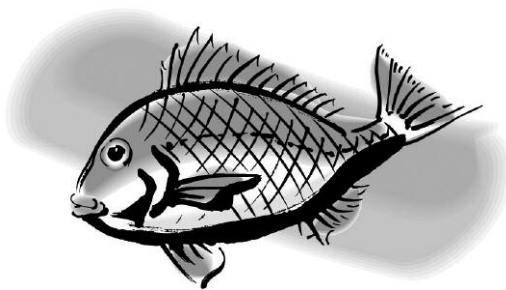
ルフ場に直行。午後からハーフを回ったそうです。そうまでして参加したのは、クラブ内で2カ月に1度開催されるコンペで特別だったからとのこと。秋にはハワイで4ラウンドし、帰るや否や「とっても良かったのでまた行きたい」とおっしゃっていました。

ゴルフを始めて1年目の私は、1ラウンドでも翌日は若干の筋肉痛、半端ならぬ疲労感に見舞われるのに、大先輩は平気のご様子。時々、一緒にプレーさせて頂きますが、ミスショットは

見たことがあります。きっちり寄せて、確実に入れるお手本のようなゴルフです。もちろん数年前にホールインワンもエージシュートもなさっています。今でも時間があると練習場に出掛けるそうです。

このパワーは一体どこから来るのか？ 皆さんも知りたいだろうと思いますので、こっそりお教えします！ ずばり「お肉を食べる」です。週に一度は焼肉を召し上がり、行きつけの焼肉屋さんで「いつもの」と注文されると言います。以前、カニ鍋とすき焼きの2種類をご用意した時も、迷わずすき焼きを選んで召し上がっていました。どうやらお魚は苦手なようです。

最近日本酒も召し上がります。亀山ライオンズクラブには日本酒を楽しむ同好会があり、毎月1回開催されています。



す。最初から最後まで日本酒だけを頂きます。長田氏は昨年からの会にも参加されるようになりました。なんでも、適量の日本酒のおかげで朝までぐっすり眠れるようになったそうです。食事と睡眠は大切ですね。

もう一点、長田氏のパワーの源は、好奇心が旺盛なことではないでしょうか。ポケモンGOが配信された翌日、LINEでこんなメッセージをもらいました。「亀山ライオンズクラブ30周年の記念時計のある場所が、ポケモンGOのポケストップになってるけど知ってる？」。びっくりしました。「長田さん、もうポケモンGOやっとなら!! 早速早くポケモンGOを始めたのではないのでしょうか。私も負けられないので、すぐダウンロードしました。しばらくは例会前後にポケモン談義に花が咲いたことは言うまでもありません。

長田幸夫氏は地元で古くから建材の会社を経営され、亀山商工会議所の会頭も長年務められた、私たちの尊敬する大先輩です。もちろん今でも、クラブの行事には積極的にご参加頂いています。いつもニコニコして若手メンバーを応援し支えて頂き感謝しています。私も長田氏を見習い、向上心と好奇心を持って仕事もライオンズ活動もがんばりたいです。（クラブ幹事/11年入会）

高田大隅つどいの丘商店街

屋台村プロジェクトは、震災で真っ暗になった街に灯りをともし元気を取り戻そうと、LCIF東日本大震災指定交付金の支援を受けスタートしました。

高田大隅つどいの商店街丘

岩手県陸前高田市高田町大隅93-1

<http://rt-tsudoinooka.com/>

<https://www.facebook.com/takatatsudo>



表紙の背景

足利学校

栃木県足利市



足利学校は日本最古の学校と言われるが、その創建は奈良時代とも、平安時代とも、鎌倉時代とも言われ、定かになっていない。確実なのは、室町時代の永享11（1439）年、関東管領・上杉憲実が、現在国宝に指定されている書籍を寄進し、鎌倉の円覚寺から僧・快元を招いて足利学校の経営に当たらせてからのこと。上杉憲実の方針により、教育の中心は儒学に置かれたが、快元が易学にも精通していたことから易学を学ぶにくる者も多く、兵学、医学なども教えた。特に兵学は、戦国大名が関心を寄せる実践的学問で、戦国時代には足利学校出身者が、その道の権威者として重んじられた。

足利学校は最盛期、「学徒三千」と言われたほどの隆盛を誇り、北は奥羽から南は琉球に至る全国各地から来学徒があった。宣教師フランシスコ・ザビエルは布教本部に宛てた書簡に「坂東の大学あり。日本国中最も大にして最も有名なり」と記し、足利学校の名は海外にまで伝えられた。

が、関東における事実上の最高学府となった足利学校も、江戸時代には易学、兵学などの必要性が少なくなった上、朱子学に取って代われ衰退。明治維新後、足利藩は足利学校を藩校とすることで復興を図ったが、廃藩置県の実施もあり、明治5（1872）年に廃校となった。その後、大正10（1921）年に足利学校の敷地と孔子廟や学校門など現存する建物が国の史跡に指定されて保存が図られ、平成2（1990）年の復元完成へとつながることとなる。

※JR東日本両毛線と東武鉄道伊勢崎線が通る。浅草から特急りょうもう号で約70分。

山梨県都留市 取材／鈴木秀晃 写真／田中勝明

富士山の湧き水がもたらす恵み。 伝統野菜と川魚、そしてわさび。



冬場に都留市の十日市場・夏狩地区で盛んに栽培される水掛菜

都留

TSURU

山梨県都留市

山梨県東部、周囲を御坂山地や丹沢山地に連なる山に囲まれ、市の中心を富士五湖の一つ山中湖を水源とする桂川が流れる。その桂川に沿うように市街地が形成され、また中央自動車道（河口湖線）や、国道139号、富士急行大月線も桂川と並行して通じている。江戸時代は谷村藩の城下町として栄えるなど、歴史も感じさせるが、現在はリニアモーターカー実験線の拠点基地として、時代の最先端を走っている。市内十日市場、夏狩地区では富士山の伏流水がコンコンと湧き出ており、それら湧水群は平成の名水百選に選ばれている。面積／161.63平方キロメートル 人口／3万1081人（2017年1月1日現在）

【交通アクセス】

市内に富士急行線大月線の9駅があり、JR中央本線で東京・新宿から大月で乗り換え、約80分

主要道は国道139号。中央自動車道の都留ICがあり、新宿から約80分、県庁のある甲府や、静岡県の御殿場からは約40分

富士山の湧き水で育つ 伝統野菜・水掛菜

都留市は富士山の北東にある。が、すぐ近くに日本一の山がありながら、普段はなかなかその威容を拝むことが出来ない。山に囲まれているため、富士山と距離が近い分、それらの

山々が富士山を隠しているのだ。

その代わり、都留市は富士山から豊富な湧き水という恩恵を受けている。富士山の降水量は平均すると、1日約600万トンと推計され、そのうち25%が蒸発し、残り450万トンはほとんど、地下へしみ込むと言われている。しみ込んだ水は溶岩層に



都留市十日市場にある西東京ゴルフ倶楽部から望む富士山

覆われた砂礫層^{されき}や、溶岩層と溶岩層の間を満たし、伏流水となり、15年から20年の歳月を経て、溶岩層の末端から湧き出ると考えられている。

都留市内には、上水道に使用しているだけで、富士山の伏流水が日に約8千トも湧き出ている。特に、環境省によって「平成の名水百選」に選定された十日市場・夏狩湧水群には、湧水地が10カ所以上ある。水温は年間を通して12、13度に保たれ、水量も豊富なことから、伝統野菜である水掛菜の栽培や、養魚場、わさび田などで利用されている。

水掛菜は、都留市や隣の富士吉田

市、また静岡県御殿場市、富士宮市など富士山周辺で、水田の裏作として作られている。富士山の湧き水をかけ流しながら育てることから、その名が付いたと言われる。

明治の中頃、都留市の農家が、富士山の湧き水が冬も凍らないことに目を付け、水をかけ流して葉つ葉を栽培することを思いついた。今では流通が良くなり、冬でも野菜が手に入るが、昔は冬場の青物野菜は貴重だった。寒さの厳しい地域ではなおさらだ。そのため、この方法はすぐに普及。多くの農家が、収穫の終わった田んぼに畝^{うね}を作って種をまき、

そこに湧き水をかけ流して引き込み、

水掛菜を栽培するようになった。富士吉田に青果地方卸売市場が設立された昭和35年からは出荷も始まり、生産が本格化。昭和60年頃までは市内各地で盛んに栽培されていた。

その後、宅地化が進んだ上に農家の高齢化もあり、栽培面積、生産者ともに減少。現在は十日市場・夏狩地区で約20軒が栽培するのみとなっている。が、地元ではまだまだ人気野菜。各家庭では塩で漬け込んだり（水掛菜漬）、おひたしや炒めもの、胡麻和えなど、多くの料理に使われる。都留では特に正月の雑煮に欠かせない食材であり、年末年始にかけて出荷のピークを迎える。

水掛菜は小松菜をやや大ぶりにした感じで、葉はカブに似ている。ビタミンやミネラルが豊富で、ビタミンCはキャベツの2倍含まれているという。湧き水をかけ流して栽培することで、葉や茎などが凍らず青々とし、アクが少なく、クセが無いのが特徴。霜が降りる度に甘みが増すと言われ、12月下旬から2月下旬まで収穫が続く。

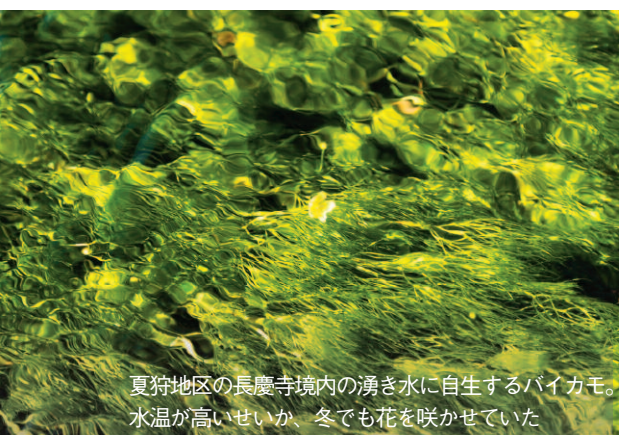
魚を養い、わさびを育てる湧水群

富士山から流れ出る清らかな湧き水は、水掛菜を始めとした農業以外にも、川魚の養殖やわさび栽培など、さまざまな恵みを、そこに暮らす人々にもたらしている。

十日市場・夏狩地区には、湧き水を利用した養魚場が4カ所あり、ヤマメやニジマスなどを飼育している。その一つ、十日市場の柴崎養魚場に、都留ライオンズクラブの中野清会長が案内してくれた。以前は自分でも水掛菜を作っていたという中野会長は、



都留では「棚売り」という水掛菜オーナー制度もあり、畝1列をまるごと買って、好きな時に自分で収穫に来る人も多い



夏狩地区の長慶寺境内の湧き水に自生するバイカモ。水温が高いせい、冬でも花を咲かせていた

十日市場在住で、この養魚場も子どもの頃から知っていたそうだ。

ご主人の柴崎利春さんは神奈川県相模原市の出身で、当初は都留市に隣接する道志村で養魚に取り組んでいた。が、十日市場の湧き水にひかれ、2000年に移住。ちょうど引退を考えていた、当時の養魚場経営者から池を譲り受けた。

柴崎養魚場は岩盤の切れ目にあり、そこからは毎分10ℓの水が勢い良く湧き出ている。水温は年間を通して約13度と安定しており、その水を池にかけ流し、魚を育てている。

「ヤマメは川の水で飼うと、冬場は寒くて餌を食べなくなるんです。でもここは水温が一定で、冬でも餌を食べるため、痩せないんですよ」

と、柴崎さん。温かい湧き水の中で暮らすヤマメは、餌をよく食べるため脂のりが良く、更に川魚独特の臭みもない。育てたヤマメは主に東京や神奈川の料理屋に卸しているが、直接購入することも出来る。

◆ 湧き水を使ったわさび田は、西桂町との境界に近い夏狩地区の一番奥にある。1918年の創業から約1



富士山の湧き水が流れ落ちている、夏狩地区の太郎・次郎滝

00年となる菊地わさび園は、約2400坪の土地に100枚ほどの棚田を持つ。

周辺は溶岩層で、あちこちから富士山の伏流水が湧き出ている。その量、毎分2ℓ。水温も水量も年間を通して一定しており、その清冽な水が、棚田の中を流れている。

そんな湧き水で育ったわさびは甘みが強く、香りも良い。更に3代目の菊地富美男さんは、無農薬栽培に挑戦。最初は失敗の連続だったそうだが、徐々に病気に強いわさびが育つようになり、収穫も安定。今では無農薬わさびが、菊地わさび園の代名詞となっている。

柴崎養魚場 (Tel.090-3221-0304) では注文により、桜の木をいぶして自慢のヤマメやニジマスの燻製も作っている



収穫したわさびは、地元の道の駅などで販売しているが、実は菊地わさび園のメインは自家製のわさび漬け。こちらも無添加にこだわりの無農薬、無添加のわさびを作り続ける菊地わさび園の取り組みは、15年の毎日農業記録賞最優秀賞を受賞するなど、高い評価を得ている。



菊地わさび園の棚田は、専門の職人により城壁と同じ野面積みで石垣が組まれている



菊地わさび園 (Tel.0554-43-9279) では、出来るだけ自然な形でわさび作りに取り組んでいる



▼取材協力クラブ

都留ライオンズクラブ (中野清会長／

61人) ≡ 1963年7月

1日結成／スポンサ

ー富士吉田ラ

イオンズクラブ／

年間を通して

献血に力を入

れており、クラブ単独で2回、県立
都留興譲館高校との連携で2回、献
血活動を実施している。近年はこう

した地道な継続事業が評価され、隣

接する道志村からの依頼で、同村で

の献血も実施するようになった。こ

の他、都留文科大学の山側に隣接し

ている楽山公園を千本桜で満たそう

と、10年間、毎年

100本ずつ桜を

植樹する計画に取

り組んだり、毎年

11月には市内にあ

る7カ所の福祉施

設を招いてのチャ

リティー・ボウリ

ング大会を実施し

たりしている。ま

た、クラブ独自で

ライオンズクエス

ト・プログラムを

推進しており、教

育関係者を対象と

したセミナーの開

催や、ワークショ

ップへの教師派遣

を行っている。同

じ330・B地区の神

奈川県・小田原ラ

イオンズクラブと姉妹

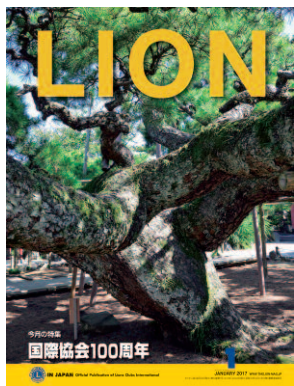
読者から——1月号

リーダーシップと努力に敬意

「The Power of Service」奉仕の力が面白かったです。一つの写真集がきっかけで、ライオンズクラブが起こした粘り強い行動にライオンズのすばらしさを感じました。

その後、他クラブや市民を巻き込んだ募金にLCIF交付金に加わり、更なる大きなアクションへとつなぎ、うねりとなつて飢餓に苦しむケニアの人々に救援米が届けられました。こうしたことが36年前に行われたことに感動を覚えます。これこそ「ニーズのあるところに、ライオンズがいる」ことの一例なのでしょね。誇りを持ってライオンピンを胸に付けます。次回も楽しみに致しております。

「特集・創設者メルビン・ジョーンズの話」で、メルビン・ジョ



読者プレゼント

■無農薬わさびと無添加わさび漬けを読者5人に

今月号「ふるさと探訪」(49～53頁)で紹介した山梨県都留市にある菊地わさび園の「無農薬わさび」と「無添加こだわりわさび漬け」をセットにして5人の読者にプレゼントします。「無添加わさび漬け」は、富士山の清冽な湧き水で育った無農薬わさびを、



2種類の純米酒をブレンドした酒粕と、北海道産のてんさい糖と共によく混ぜ合わせ、最後にモンゴルの岩塩で味を調えたこだわりの一品です。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「わさび」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は3月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階 一般社団法人日本ライオンズ・ライオン誌
*オンライン応募は、ライオン誌ウェブマガジン (www.thelion-mag.jp) の「プレゼント応募」から。

ヨーンズがライオンズクラブを創設した過程を拝読しました。改めてメルビン・ジョーンズのすばらしいリーダーシップと惜しみない努力に敬意を覚えます。
兵庫県・西宮ホワイトライオンズクラブ
●畑山裕子

■重宝するバックナンバー

同じ県の洲本ライオンズクラブが、青少年の未来のため、すばらしい事業をされているのを拝見しました(1月号「SCENE」)。抽選がコネクションなしというのも良い発想だと思いました。「ライオンズ・ニュース・カセ

ット」で紹介されていたライオン誌デジタル版のバックナンバーを早速開けてみました。「デジタル・アーカイブ」に入ると、過去の記事が読めました。今回見たのは2009年から15年までですが、これから重宝します。
兵庫県・赤穂ライオンズクラブ ●立花剛

■さまざまな人が入るクラブ

編集室の「これからの会員のために」を読み、同じ思いを強く持ちました。さまざまな立場の人が入会出来るクラブを目指していくべきだと思います。また、洲本ライオンズクラブの取

り組みはすばらしいものだと感じました。子どもたちへの投資はとても必要なものだと感じています。
福井県・勝山ライオンズクラブ ●西出健一

■楽しいクラブ運営も重要

「日本ライオンズクラブ分布図」を目にし、当地区はクラブ数も会員数も一歩少ないため、なんとかしなければと思っています。しかし、少人数であっても、楽しいクラブでいることが大事だと仲間と話合っています。
秋田県・ゆり本荘ライオンズクラブ
●土田年子

「母にひとつ、父にもひとつ」

柴田薫（北海道・石見沢グリーンライオンズクラブ）※構成／青山研

「ライオン誌」バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

私は、生まれた時から北海道でしてね。空知で育ちました。辺りは石狩炭田地帯です。ここは戦後の一時期、実に勢いがありました。私の父は小さな炭鉱を経営してましてね、口数の少ない、よく働く人でした。私の少年時代は、そんな寡黙で働き

てね。急転直下、悲惨な生活を味わうことになりました。父は、その前から眼病を患っていました。夜になるとハウサンで目を洗ってましてね、よく見えないのに、見える振りして倉庫番や夜警をしてました。母も、目があまり良くなかったんです。母は仮死状態で

親孝行だとおっしゃるんですか。いやいや、そのうちに、60年代のロカビリーブームの到来ですよ。もう迷うことなくドッキリでした。プレスリーにベンチャーズ、それにビートルズです。ギター片手にバイクだ、車だ、おまけに女の子にもモテ

だ、何がデイスコだ。責めたって父は生き返りやしません。涙が止まりませんでした。間もなく、私は結婚し、母を呼び寄せて一緒に暮らし、かわい子どもにも恵まれました。そのうちに親しい友人の勧めでライオンズとも出会い、因縁で



生まれたとかで、子どもの頃の栄養失調などもあったのでしょうか「クサレ目」だと嘆いていました。目ヤニを拭き拭き、毎晩、夜なべで和裁の時間仕事でした。そんな両親の姿を見て育った兄も私も高

校を出てすぐ、就職しました。毎月、家に仕送りをしてましたが、母はよく言っていたそうです。「あの子は、やさしい子だ」って。人づてに聞きましたね。そんな母の言葉がただただうれしくて、昼を抜いても母に仕送りをしたものでした。

忙しの時代を迎えたわけですが、次第に家にも寄りつかなくなつて、送金も途絶えがちになりました。親不孝を絵に描いたような、青春時代の十年間でした。札幌のあるデイスコのステージにいた夜でした。父が脳溢血で倒れたと知らされました。死に目には間に合いましたが、母が言ったんです。

者の父と優しい母に守られて、何不自由ないものでした。

「父さんは、緑内障でほとんど目が見えなくてね。道路ですれ違った人みんなに、失礼のないようにあいさつしていたんだよ」

責めました、自分を。なぜ一度も目医者に連れてってやらなかったんだ、俺は。何がギター

苦勞をかけた母も死んで、私も還暦を過ぎました。やがて、そんなに長くないうちに、私も親不孝を詫びながら、父母の元へ参ることになるのでしょうか。妻にはもう言い渡してあります。まさかの時には角膜提供の連絡を忘れずにつてね。母にひとつ、父にもひとつ……。

ですが、石炭から石油へエネルギー政策が変わって、そのあたりで父の小規模炭鉱など、跡形もなく吹っ飛んでしましました。家族4人、夜逃げ同様に別の町へ移り住むことになりました

「父さんは、緑内障でほとんど目が見えなくてね。道路ですれ違った人みんなに、失礼のないようにあいさつしていたんだよ」

責めました、自分を。なぜ一度も目医者に連れてってやらなかったんだ、俺は。何がギター

苦勞をかけた母も死んで、私も還暦を過ぎました。やがて、そんなに長くないうちに、私も親不孝を詫びながら、父母の元へ参ることになるのでしょうか。妻にはもう言い渡してあります。まさかの時には角膜提供の連絡を忘れずにつてね。母にひとつ、父にもひとつ……。

ライオン誌例会のスズメ

— 次の例会ですぐ使える情報

ライオンズ百科

■ 協会創設50周年の新奉仕分野

今月号特集の通り、創設100周年を迎えた国際協会は次の100年に向けた戦略計画として、新たなグローバル奉仕の枠組みを含むLCIフォワードを発表した。今から50年前の1967年、創設50周年を迎えて新しい奉仕分野として打ち出されたのは「平和の探求」だった。

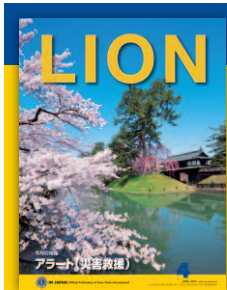
当時、ベトナム戦争への軍事介入を本格化させたアメリカは、65年から大量の地上軍投入を開

4月号予告

特集 アラート(災害救援)

災害が多発する日本で、ライオンズはどういう支援活動が出来るのか？ 2年前、本誌が同じテーマで特集を組んだ際、阪神・淡路大震災と東日本大震災の経験者が出した答

えは奇しくも同じ言葉「後方支援」だった。これをキーワードに、現実的なアラート活動を考える。



始。国内では反戦の気運が高まりつつあった。首都ワシントンで10万人規模の反戦デモがあったのは67年10月のことだ。それに先立って平和探求の方針を掲げたエドワード・リンゼイ第50代国際会長は、就任後初のメッセージでこう訴えた。



平和論文コンテストで入賞者6人の一人に選ばれ、50周年記念シカゴ国際大会でスピーチする佐原昌弘さん(21歳)

「この病める世界で人々がいかに平和に、友好的に生活してゆくことが出来るかという最も困難で解きたい課題に、この時点において我が偉大な協会が力を致すことは、最も適当なことではありませんまいか」

リンゼイ国際会長はこの年、「平和は可能である」をテーマに世界の青少年による平和論文コンテストを実施。各国から100万を超える応募が集まり、アイゼンハワー元アメリカ大統領、湯川秀樹博士ら6人の審査員団による審査の結果、カナダの高校生ラッセル・ウォーデルさんの論文が第1位に選ばれた。この平和探求の奉仕活動は、30周年を迎える国際平和ポスター・コンテストに受け継がれている。

2月号「表紙の背景」(48頁)で紹介した「おちや風船一揆」の今年の日程は2月25日と26日の誤りでした。訂正してお詫び致します。

■訂正とお詫び

この後、中国残留孤児の帰国が本格化したのを受けて、日本のライオンズの間からは残留孤児を救援しようという声が上がった。332複合地区は82年の年次大会で残留孤児の慰安援護のため会員一人当たり100円を拠出する議案を可決。支援活動は全国のクラブで展開された。

1981年3月2日、中国残留日本人孤児47人が、肉親探しのため初めて正式に来日した。

クイズ de 例会

〈第1問〉国際協会の新たな戦略計画LCIフォワード。英単語「フォワード」のつづりは？

- a. Forehead b. Foreword
c. Forward

〈第2問〉LCIフォワードで目標とする2021年までの年間の奉仕人数は？

- a. 1億人 b. 2億人 c. 3億人

〈第3問〉LCIフォワードが掲げるグローバル奉仕の枠組みの人道課題に含まらないものは？

- a. 糖尿病 b. ポリオ
c. 小児がん

〈第4問〉ライオンズクラブがその起草に助力した憲章は？

- a. オリンピック憲章
b. 国連憲章 c. 地球憲章

〈第5問〉LCIFが1991年から3年間実施した資金獲得キャンペーンの目的は？

- a. 視力ファースト
b. ライオンズクエスト
c. はしかイニシアチブ

★回答は54%下



EXECUTIVE OFFICERS

President Chancellor Robert E. "Bob" Corlew, Milton, Tennessee, United States; Immediate Past President Dr. Jitsuhiro Yamada, Minokamo-shi, Gifu-ken, Japan; First Vice President Naresh Aggarwal, Delhi, India; Second Vice President Gudrun Yngvadottir, Gardabaer, Iceland; Third Vice President Jung-Yul Choi, Busan City, Korea. Contact the officers at Lions Clubs International, 300 W 22nd St., Oak Brook, Illinois, 60523-8842, USA.

DIRECTORS

Second Year Directors

Melvyn K. Bray, New Jersey, United States; Pierre H. Chatel, Montpellier, France; Eun-Seouk Chung, Gyeonggi-do, Korea; Gurcharan Singh Hora, Siliguri, India; Howard Hudson, California, United States; Sanjay Khetan, Birgani, Nepal; Robert M. Libin, New York, United States; Richard Liebno, Maryland, United States; Helmut Marhauer, Hildesheim, Germany; Bill Phillip, Kansas, United States; Lewis Quinn, Alaska, United States; Yoshiyuki Sato, Oita, Japan; Gabriele Sabatosanti Scarpelli, Genova, Italy; Jerome Thompson, Alabama, United States; Ramiro Vela Villarreal, Nuevo León, Mexico; Roderick "Rod" Wright, New Brunswick, Canada; Katsuyuki Yasui, Hokkaido, Japan.

First Year Directors

Bruce Beck, Minnesota, United States; Tony Benbow, Vermont South, Australia; K. Dhanabalan, Erode, India; Luiz Geraldo Matheus Figueira, Brasília, Brazil; Markus Flaaming, Espoo, Finland; Elisabeth Haderer, Overeen, The Netherlands; Magnet Lin, Taipei, Taiwan; Sam H. Lindsey Jr., Texas, United States; N. Alan Lundgren, Arizona, United States; Joyce Middleton, Massachusetts, United States; Nicolin Carol Moore, Arima, Trinidad and Tobago; Yasuhisa Nakamura, Saitama, Japan; Aruna Abhay Oswal, Gujrat, India; Vijay Kumar Raju Vegesna, Visakhapatnam, India; Elien van Dille, Ronse, Belgium; Jennifer Ware, Michigan, United States; Jaepung Yoo, Cheongju, Korea.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL. (630)571-5466 FAX. (630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行される。英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

ライオン誌日本語版委員会

国際理事	安井 克之	
国際理事	佐藤 宜之	
国際理事	中村 泰久	
委員長	石井 博之	(334複合地区)
編集長	佐藤 義則	(332複合地区)
委員長	久津間康允	(330複合地区)
委員長	佐々木忠康	(331複合地区)
委員長	渡邊 信也	(333複合地区)
委員長	中村 房雄	(335複合地区)
委員長	矢野 敏明	(336複合地区)
委員長	小柴 登司	(337複合地区)

一般社団法人日本ライオンズ

ライオン誌日本語版委員会

〒104-0028東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階

TEL. (03) 6674-8777 FAX. (03) 6674-8781

E-mail. edit@thelion.jp

Website: www.thelion-mag.jp



ライオン誌
日本語版委員長

石井博之
(三重県・津中央)

今年度ライオン誌日本語版委員会の委員長に選任され、早くも半年が経過しました。今年度委員会の主要な責務は、公式版ライオン誌のデジタル化と併せて印刷版の発行について検討し、その方向性を決めることと考えています。

これまでに国際理事会では、2018年1月から全公式版ライオン誌をデジタル化すること、印刷

版の発行を年4回以上とすることが決議されています。デジタル版移行という当初の発表により、読者会員の皆さんの中には、ライオン誌が無くなるのではと懸念される声もあったと聞いております。しかし昨年10月にドイツで開かれた公式版ライオン誌編集者会議において、現在は年6回以上と定められている印刷版発行回数を年4回以上とし、各国の印刷版を統一された形式でデジタル化する、という方針が明確に示されました。またこれに伴い、公式版ライオン誌に対する補助金が現在の会員一人当たり年額6ドルから4ドルに減額さ

れることも告知されました。国際協会がデジタル化を進める第一の目的は、主に若い世代のライオンズに対する関心を高めるためにインターネットを通じて情報発信を推進することです。今月号の特集「LCIフワード」にも、将来に向けて新たな技術の構築を進めているとの説明がありました。

当委員会はこの方針を受けて今後の日本国内におけるライオン誌の在り方を検討するに当たり、「ライオン誌デジタル化アンケート」を実施することとしました。会員の皆さんの声を参考とすべく、各クラブの例会で各会員の意

見を聞き取ってご回答頂けるようお願いしています。アンケート実施期間は16年12月中旬～17年2月末日までで、この3月号がお手元に届く頃には、その結果がほぼ出ているものと思われます。1月の中間集計の段階では、「高齢の会員が多いので従来通りに印刷版を継続してほしい」というご意見が多数寄せられた一方で、「紙を使わずにデジタル化を推進してほしい」という声もありました。委員会ではアンケート結果を受けて慎重に精査検討し、印刷版の発行回数を含めた18年1月以降の方向性を打ち出したいと考えています。

編集室

ライオン誌のデジタル化について

日本ライオンズクラブ分布図

2017.1.31 eMMR ServannA報告による

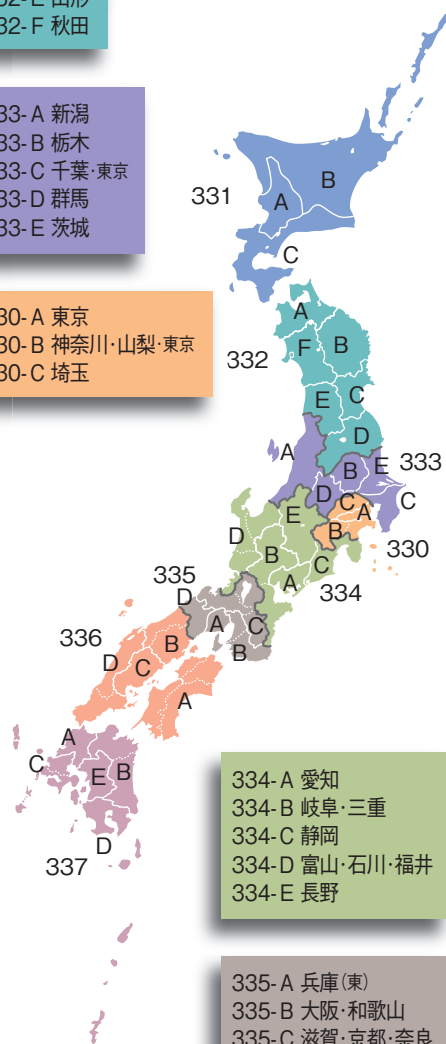
地区	クラブ数	会員数	増減	男女別会員数		家族会員数			
				男性	女性 (割合)	子会員	増減	男性	女性
330-A	201	6,484	81	4,685	1,799 (27.7)	1,857	11	607	1,250
330-B	166	4,532	33	3,804	728 (16.1)	480	-5	129	351
330-C	85	2,377	26	1,932	445 (18.7)	372	-6	118	254
330 計	452	13,393	140	10,421	2,972 (22.2)	2,709	0	854	1,855
331-A	73	2,781	47	2,230	551 (19.8)	468	9	84	384
331-B	85	2,755	13	2,210	545 (19.8)	483	2	67	416
331-C	51	1,939	17	1,582	357 (18.4)	336	4	85	251
331 計	209	7,475	77	6,022	1,453 (19.4)	1,287	15	236	1,051
332-A	63	2,164	41	1,679	485 (22.4)	382	4	81	301
332-B	53	2,423	7	1,600	823 (34.0)	851	-2	146	705
332-C	67	1,927	38	1,359	568 (29.5)	542	17	111	431
332-D	72	2,575	85	1,965	610 (23.7)	559	32	115	444
332-E	56	2,080	46	1,620	460 (22.1)	388	3	60	328
332-F	44	1,397	-3	1,016	381 (27.3)	329	2	58	271
332 計	355	12,566	214	9,239	3,327 (26.5)	3,051	56	571	2,480
333-A	74	3,239	11	2,551	688 (21.2)	654	12	171	483
333-B	48	1,755	13	1,111	644 (36.7)	608	23	157	451
333-C	134	3,540	1	2,703	837 (23.6)	547	-36	164	383
333-D	54	2,465	19	1,783	682 (27.7)	704	-22	166	538
333-E	82	4,892	71	3,173	1,719 (35.1)	1,948	-37	526	1,422
333 計	392	15,891	115	11,321	4,570 (28.8)	4,461	-60	1,184	3,277
334-A	120	6,942	55	4,571	2,371 (34.2)	2,412	-9	482	1,930
334-B	79	4,795	25	3,258	1,537 (32.1)	1,700	-51	347	1,353
334-C	80	3,496	15	2,884	612 (17.5)	541	-31	75	466
334-D	98	5,960	155	3,966	1,994 (33.5)	2,139	70	400	1,739
334-E	52	2,675	-11	1,896	779 (29.1)	787	-49	207	580
334 計	429	23,868	239	16,575	7,293 (30.6)	7,579	-70	1,511	6,068
335-A	81	2,153	12	1,690	463 (21.5)	224	2	32	192
335-B	169	6,671	54	4,844	1,827 (27.4)	1,546	23	319	1,227
335-C	115	4,117	68	3,439	678 (16.5)	414	3	94	320
335-D	64	2,032	-11	1,583	449 (22.1)	316	-17	72	244
335 計	429	14,973	123	11,556	3,417 (22.8)	2,500	11	517	1,983
336-A	147	6,257	152	4,747	1,510 (24.1)	1,119	18	214	905
336-B	94	3,337	-55	2,667	670 (20.1)	468	-30	75	393
336-C	96	3,545	103	2,961	584 (16.5)	420	72	75	345
336-D	93	3,447	56	2,847	600 (17.4)	431	7	44	387
336 計	430	16,586	256	13,222	3,364 (20.3)	2,438	67	408	2,030
337-A	116	5,560	73	3,996	1,564 (28.1)	1,245	6	270	975
337-B	69	2,981	88	2,193	788 (26.4)	783	21	168	615
337-C	80	4,198	-35	2,785	1,413 (33.7)	1,463	-70	424	1,039
337-D	76	2,385	34	2,041	344 (14.4)	186	-2	37	149
337-E	58	1,857	90	1,488	369 (19.9)	273	51	75	198
337 計	399	16,981	250	12,503	4,478 (26.4)	3,950	6	974	2,976
総計	3,095	121,733	1,414	90,859	30,874 (25.4)	27,975	25	6,255	21,720

331-A 北海道(道央)
331-B 北海道(道北・道東)
331-C 北海道(道南)

332-A 青森
332-B 岩手
332-C 宮城
332-D 福島
332-E 山形
332-F 秋田

333-A 新潟
333-B 栃木
333-C 千葉・東京
333-D 群馬
333-E 茨城

330-A 東京
330-B 神奈川・山梨・東京
330-C 埼玉



334-A 愛知
334-B 岐阜・三重
334-C 静岡
334-D 富山・石川・福井
334-E 長野

335-A 兵庫(東)
335-B 大阪・和歌山
335-C 滋賀・京都・奈良
335-D 兵庫(西)

336-A 徳島・高知・香川・愛媛
336-B 鳥取・岡山
336-C 広島
336-D 島根・山口

337-A 福岡・長崎
337-B 大分・宮崎
337-C 佐賀・長崎
337-D 鹿児島・沖縄
337-E 熊本

世界のライオンズ

2017.1.31 国際協会集計

国または領域………212
会員数 ……1,397,369

クラブ数 ……46,927
会員数増減 ……17,880

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズ新書

●ライオンズ新書01 ライオンズ力を高める 第1版第2刷

ライオンズクラブの歴史や組織からクラブ運営の全般までを、分かりやすく系統的にまとめた。1983年に刊行した『ライオンズ スピリット』の後継書。

新書判 224ページ
1部500円・送料実費



●ライオンズ新書02 LCIF早分かり 第2版第1刷

ライオンズクラブ国際財団の目的や仕組み、寄せられた献金がライオンズの人道奉仕にどのように生かされているかなど、LCIFの概要や意義をまとめた。

新書判 184ページ
1部400円・送料実費



●大口注文割引：100～499部＝1部450円／500部以上＝1部400円

●大口注文割引：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

ライオンズスクール・シリーズ

●初級編・ライオンズクラブ入門 第3版第6刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。

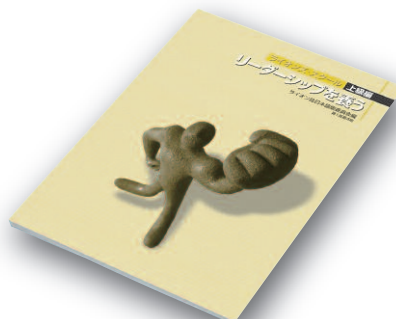
A4判 64ページ
1部400円・送料実費



●上級編・リーダーシップを養う 第1版第5刷

国際協会の総合的リーダーシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員の指導力育成に最適。

A4判 64ページ
1部400円・送料実費



●大口注文割引(ライオンズスクール・シリーズ)：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

- 合計で2万円以上ご注文の場合、送料無料（組み合わせは問いません）。※ただし、急ぎの場合は実費請求
- お申し込みはEメール(office@thelion.jp)またはファクス(03-6674-8781)でお願いします

ライオン誌日本語版出版物 注文書

- 『ライオンズ力を高める』成り立ちから組織、運営まで分かる簡単ガイド ☐ 部
- 『LCIF早分かり』世界ナンバー1 NGOの簡単ガイド ☐ 部
- ライオンズスクール初級編『ライオンズクラブ入門』 ☐ 部
- ライオンズスクール上級編『リーダーシップを養う』 ☐ 部

地区名 33 -	クラブ名	お名前（クラブで注文の場合は不要）
ご住所 〒 -	お電話番号	



世界中の子どもたちの笑顔が見たい!



Lions Clubs International
FOUNDATION

300 W 22ND STREET, OAK BROOK, IL 60523-8842, USA

Phone: 630-571-5466 Fax: 630-571-5735

E-mail: lcif@lionsclubs.org

<http://www.lcif.org/JA/index.php>